

折居彪二郎資料「満州採集日誌（1935）」

説田 健一・齊藤 郁子*

“The diary about animal collecting in Manchuria (1935)”
by the professional hunter, Hyojiro Orii

Ken-ichi SETSUDA, Ikuko SAITO

1. 折居彪二郎資料「満州採集日誌（1935）」の概要

折居彪二郎（1883-1970）は、明治のおわりから昭和のはじめにかけて、主に山階芳麿や黒田長禮といった研究者の依頼で、旧日本領の鳥獣採集を行った人物である。折居がこれらの調査で記録した日誌や標本の計測ノートは、苫小牧市立中央図書館に保管されている（苫小牧市立中央図書館, 1998, 1999）。これまでに、「琉球及び大隈列島採集日誌（1921）」（齊藤・嵩原, 2003）、「千島採集日誌（1928）」（揚妻, 2005）、「台湾採集日誌（1932）」（説田・齊藤・鷲田, 2006）、「琉球採集日誌（1936）」（齊藤・嵩原, 2004）が活字化されており、本稿は、苫小牧市立中央図書館の資料番号「1040270249」である「満州採集日誌（1935）」を活字化したものである。

この日誌は、1935年、鳥類研究者、山階芳麿の依頼で中国東北部（旧満州）を調査したときのもので、20.5 cm×16.5 cmの大学ノートに縦書きで記されている。また、採集した鳥類の内臓標本のリストが同じノートの最終頁から逆向きに記録されている。

日誌に記されている調査日程は、1935年4月3日に苫小牧出発し、4月13日に清津入港、4月19日から12月7日まで拉穆古爾廟、札拉木特、大興安山、瓊瑋、霧靈山、二道梁子、綏中などで鳥獣を採集し、12月12日に奉天到着までである。日誌には、中国東北部の自然に関する記述のほか、日本の傀儡国家「満洲国」時代の世相もうかがわれる。匪賊を警戒しながらの採集行であり、また「満洲国皇帝ノ御来朝中ノ事故特ニ警戒」して所持していた実弾が警察官に保管されることもあった。

依頼主の山階は、折居から入手した1500以上の剥製、内臓、卵標本に基づき、2編の論文を発表した（Yamashina, 1939a,b）。これらの標本は財団法人山階鳥類研究所に保管されているが、岐阜県博物館にも一部が保管されている（説田・時田, 2001）。

2. 凡例

活字化にさいしては、次のようにした。

- ・旧漢字は原則として常用漢字に改めた。

- ・判読不能の文字は「□」とした。また、『大漢和辞典』（諸橋轍次著 大修館書店 1974年）に無い文字は「■」とした。
- ・誤りと思われる文字もそのまま起こし、「ママ」とルビを付した。補足が必要な部分は[]内に推測される文字を示した。また、文意が通るように補足した部分も[]内に示した。
- ・原資料の欄外にある書き込みは{ }で括り示した。
- ・原資料で見せ消ちになっている部分は、文字が判読できるものは二重線を引いて示し、文字が判読できないものは「●」で示した。
- ・置字である縦長の「く」は、該当する文字を起こした。
- ・明らかに空白としている部分はそのまま空白とした。
- ・句読点を適宜補った。なお、原資料では読点「、」としている部分でも句点「。」とした方が適当であるものに関しては訂正している。
- ・記載されている鳥名は、現在使われている和名と異なる場合もあるが、原則として原資料に忠実に文字を起こした。
- ・原資料は縦書きだが、本稿では横書きにした。
- ・本文中で、二段または三段組で記された観察鳥名リストは、一段に改めた。
- ・原資料では採集した鳥の名前などに「(カギカッコ)」を長くしたような記号が付されているが、通常のカギカッコと区別するため便宜上「*」に置き換えた
- ・原資料の末尾から始まる内臓標本のリストは、日付順に逆向きに直し、本稿の末尾に付録として載せた。
- ・一部に差別的と思われる表現も見られるが、原資料の学術的価値を考慮しそのまま翻刻した。

3. 原文

民政部大臣□式毅

蒙政部大臣齋默特色木丕勒

駐日満洲[州]国公使丁士源

熱河省承德●南方、興隆県ヨリ登ル森林地帯

霧靈山、天都峯

*：琉球大学非常勤講師

興隆弁事処

参事官 増田進

承德県代理参事官 神保一夫

人工鼓膜

大坂市港区八幡屋亀町一丁目

エヂソン会 約二十円一年間使用可能

{満洲[州]鳥獸採集ニ就}

昭和十年二月八日侯爵山階芳麿氏ヨリ満洲[州]ノ動物標本採集ノ交渉ヲ受、是ガ諸般ノ仕度ノ為メ費シテ四月三日漸ク助手横岡久次郎君並ニ羽田茂君ヲ伴ヘ植苗村ヲ出立ス。

四月四日

午後七時四十分本郷大学赤門前大野屋旅館ニ投宿ス。買物其他公使館ノ書類等ノ手續ヲ了シ四月七日午後七時三十分ノ急行ニテ出立ス。

四月八日

敦賀港着セシハ八日前七時頃ニテ駅前ノ松屋旅館ニ投宿。朝飯後北日本汽船会社ニ至、交渉セルモハルピン以北の切符ハ発売セヌ由ニテ壱人金貳拾 ヲ要セリ。清津港ニテ連絡シテ荷物ヲ預け入る筈ナリ。

一及六ノ日ノミ定期船在る由其他ノ会社ノ便ハ全ク無シ。本朝停車場着ト同時警察官ヨリ推可ヲ受ケタリ。

四月九日

本日警察官来リ我輩所持ノ実弾壱百発ヲ保管ス可ク預リ行ケリ。是レハ満洲[州]国皇帝ノ御来朝中ノ事故特ニ警戒シテ預リ行ケル者ノ如シ。

{敦賀港ヨリ清津上陸}

壱

四月十三日午後0時半弾薬ヲ警察ヨリ受取ル。船中ハ平温ニテ沖合ニハ水ニ[漱]鳥オ見タリ。

十三日前七時半清津着。直ニ警察署ニ至リ銃砲火薬ノ輸入手續オナシ直ニ許可証下附ナル[二]依テ荷物ヲ津清[清津]ヨリ龍井村廻リニ預け十時廿八分出発ス。接続駅ノ上三峯ニ着セシハ四時半ナリシ。直ニ上三峯警ニ手續ヲナシ許可証ヲ得テ税関ニ至リシニ係リ員留守ノ為要量[領]オ得ズ。直ク引返河ヲ渡リテ満洲[州]国ノ警察ニ至リ輸入ノ手續オナシ連絡手荷物ノ検査オ受けシハ七時半ナリシ。直ニ出発シテモ夜半朝揚川ニ着スル故今夜上三峯ニ宿泊スル事トセリ。

清津ヨリ上三峯迄ノ目撃ノ鳥

脊[背]黒カモメ、頬白鴨、鶺鴒、嘴太鳥

コクマルカラス 大ムク オシドリ

チョゲンボウ 此ノ外遠方故不明ノ小鳥

気温は東京附近ヨリ温カナリ

古茂山ヨリ上三峯迄

ハ急ノ山々重疊セル間ノ走りテ漸ク三峯ニ至リテ開け居レリ故ニ満洲[州]則[側]も山又山故汽車を通シ得る処トては三峯ヨリ上流ニ無し。茂山は(別)ナリ。

四月十四日

上三峯ノ佐藤旅館を六時半ニ出掛ケ直ニ税関ニ至リシニ漸ク公使館ヨリノ書類ヲ見附ケ出セル由ニテ今度ハ丁寧ヲ極メタリ。七時四十分満員ニテ機動車ハ朝陽川ニ向ケ出発セリ。此ノ間山又山ナル樹木ト称ス可キ者ヲ見ス。間嶋ハ古来農村開発ノ処トシテ知ラレ居ルモ施肥等ハ特別ニセサル様見受けラレタリ。満洲[州]国ノ兵ハ五七名ツ、烈[列]車ニ乗リテ警戒シ居レルテ一朝匪賊出沒セバ善ク戦フか頗る疑問タ[な]リ。

朝陽川ヨリ溝南迄

ハ山又山ナルモ処々平坦地在リテ未開地多ク此ノ間水、沼、地[池]ニハ鴨、ケリ等多ク見受ラレ雉子(北満ハ)頗る多ク敦化以西ノ小藪ニ見受ラレタリ。

大密林地帯

ハ溝南ヨリ黄泥河迄余り高カラサル樹林ナルモ二三百年位ノ齡ナルガ如シ。[雑]木オ混ヘ鬱蒼ト

{密林地帯}

茂リ鹿ヤ其他ノ獸類多ク亦啄木鳥類等モ多カル可キヲ思ハシム。此ノ樹林地帯ハ南ハ遠ク白頭山[麓?]ニ連リ北ハ是亦密山ノ西方迄延々ト長ク連生セルガ如ク余輩ニ思ハル尤モ北方ノ北鉄沿線ハ一部伐材シ盡セル処モ在ラン以西ハ小林ニテ山モ低シ。

ハルピン行ノ乗替駅拉法

ニ着セル午後四時半迄ニテハルピン行ハ一日一回ニテ本日ハ無シトノ事、已ム無ク新[站]駅ニ下車萬平ホテルニ投宿セリ。

四月十四日見[目]撃鳥類

一、真鴨、尾長鴨、鍋ケリ、尾長

シベリヤムク鳥、シベリヤ白セキレ、田ヒバリ

野スリ鷹、朝鮮嘴太カラス、深山カラス

コクマルカラス、北満雉子、朝鮮スバメ

チョケンボ、八頭、ヒバリ、鶺鴒

新[站]駅ノ水悪シク赤ク錆色オ呈シ悪臭在リ。此ノ地ハ平坦ニシテ農耕ニ適[適]シ将来一大発展ノ余地オ存ズル

ガ如シ。兵舎ノ新築セル立派ナル練[煉]瓦造リノ一聯隊位ノ大サノ者出来揚り居レリ。

四月十五日 新站発

十三円四十銭の宿料オ支払テ宿萬平ホテルヲ出立シ七時〇六分発浜江行ニ乗ル。午後二時十八分着セリ。

此間六家子ヨリ北西ハ可ナリ樹木茂リテ 迄ハ連リ漸次山ハ低ク小[丘?]ヲナセリ。

本日実見セシ鳥類ハ

大ヒバリ、中ヒバリ、真鴨、中鴨、
鳶、チヨゲンボ、嘴太鳥、
コクマル鳥、深山カラス 西比利ムク
ホ、ジロノ一種 八頭 雉子（北満）
朝鮮スマメ 白セキレ、脊[背]黒セキレ

大陸ホテルはモストワヤ街ニ在り室数見掛ヨリハ多クニ飯一食四円以上ナリ。夜明日車中ノ食事オ買フ。

{哈爾濱ノ弾ノ高価}

●坂本商店（大連）ノ支店ナリト

無烟タイヤ	一ポンド	十八円
黒色	一フロント	三円五十銭
散弾	百0九丸	四十五銭
雷管	千個	十八円ナリ

実ニ暴利モ甚シ。唯一軒丈ケ許可セシ故勝手ニボル者ニシテ実ニ悪む可キ奴カリ。

四月十六日

前八時自動車ニテ哈爾濱駅ニ至ル。手荷物ノ分配ノ都合ニ依リ別々ニ乗車セリ。半時後発す。哈爾濱ヨリ進行シテ後ハヒバリ位ノ者テ他ノ鳥類は少カリシモチ、ハル近くニ至リシニ其処此処の沼湿地ニハケリ、雁[雁]鴨、ハン等多数ニ降り居。チ、ハルヨリハ日没シテ雪ノ興安嶺を越ユル時は吹雪ニテ汽車三時

{東亜旅館}

間遅レタリ廿八年前の面影ハ全ク無ク駅附近ニは大樹ハ見ル可クモ無い。昔日宿リシト思ハル、北方の小屋ヨリ光明一点見ラレタリ。斯クテ降り走りシ間も無く二時免渡河ヲ過キ夜明ケ頃は白雪少シク残レル。札拉木特駅オ過ク前迄大平原オナセルモ茲ニ至リテ小丘陵オナシ各方ニ向ヘル平坦の谷間オナセリ。其ヨリ亦西方ハ一大平原オナセル処ヨリすれば鳥類ノ目標地として敵[適]当の物テ在る。何シろ今後の採集ノ結果ニ拠るも先ツ自分ノ見

込は誤リ無からんと思ハル。汽車ハ三時間を遅レテ十時半漸ク満洲[州]里駅ニ到着ス。東亜旅館ト云フニ投宿ス。直ニ日本領事館ニ至ル。元来相当面倒ノ手續オ要する者なる由なるも領事ノ承認を得テ銃器ノ種類等を控ヘ置カレシノミ。

[四月]十七日

午前十時半領事館ニ至リテ書類を受取る荷送りや其他の爲メニ遅レテ蒙政部オ訪問スル事トナレリ。

{交通}

到着と同時に交渉セシメシ自動車ハ一日金三十円及油代を請求セラル。是ハ視察団等ノ金持等が無暗[闇]ニ飛ビ歩きシ結果スクノ如キ高価ニセリ上げシナリ。然シテ河ノ在る呼論湖畔迄ハ一日行程（往復）ナルニモ不係帰路の分も欲シキ様子ニテ然ラハ一日七十円位ニ値する訳ナリ。尚遠方へ行けば四日分オ支拂ヘハ実ニ百廿円オ要する訳となる。驚た暴利方で在る。

物価は内地の五割ヨリ三倍位で有テ旅館ハ約二倍の下等デ三食七円位デ在ル。余は諸般の手續等ヲ了後宿の主人来リホイール新波爾虎を通過して同地迄は極力一日ハ掛る可シとの事ニテ従テ揮発油は三箱を要し一箱千五百[円]との事ニテ四十五円及一日半分四十五円を要する由驚た事ナリ。然シ今馬脊[背]ニ抛る時は四頭位の馬と乗馬三頭でニテ一行進行するとすれば七頭四円ニても一日二十八円を要シ三日ニテ行き兼、一日十里平均としても四日間を要し百十二円となる訳ニテ時間と金の不[経]済となる訳ナリ。

{止ム無ク出立}

十八日早朝出立ス可ク萬事打合せし弁当迄も手配セリ。果して居住し得る家在るや否や不明ナリ。

四月十九日

朝七時半露令[領]ヨリ運転セラレ直ニ日本石油会社試掘所ノ在ルボイール湖畔ニ至リ揮発油二箱オ譲受ク。~~オ~~ヂャライール駅ノ右オ通りテ一路南下ス。ホイール附近ニ至リ道オ失シ其ヨリ東方村落オ尋ネタルモ不明ナリ。午後四時半過ギナリ已ムナク引返シテ、ラマググルスーの喇嘛寺ノ在る小村ニ入り一室オ借受ケ温度ノ設備無キ為メ寒サ強シ。

石油代ト共ニ金九十円オ要セリ。

十九日見[目]撃鳥類

一、野雁[雁]
灰色雁[雁]
真雁[雁]

印度^マ雁^ヰ [雁]

尾長鴨

ヒドリ鴨

○真鴨

○ヨシ鴨

○小鴨

○頬白鴨

赤筑紫鴨

○ツクシ鴨

ラマグルスーの鳥 昭和十年四月十九日ヨリ
五月十三日迄

○宙飛

○鍋ケリ

○蒙ワシ

灰色宙飛

鳶

○蒙古小ヒバリ

○羽白大ヒバリ

○爪長ホジロ

○頬白セキレ

イザベルヒタキ

○嘴細白千鳥

21/4○サカツラガン 多

白鳥

青サギ

○ルリヒタキ

フクロー (大)

三[斑]ウヅラ

西比利ホジロ (少)

23紅ハシガラス

○西比利白セキレ

○頭高

四月廿七ヒ[日]

○黄頭爪長セキレ

○蒙古脊^マ[背]黒鴨

四月廿九日

嘴太ヒバリ

五月二日

赤羽白

ミコアイサ

○満洲^マ[州]小ヒバリ

○蒙古浜ヒバリ

○嘴細カラス

深山カラス

○八ツ頭

○蒙古沙漠鶉

○中ヒバリ

○浜ヒバリ

○山ヒバリ

○灰色ツグミ

黄腹^マ[腹]四十柄

○24小千鳥

○山ウヅラ

○アトリ

廿八日

○嘴太菱喰ニ

29/4

○嘴黒ヒタキ

一日

○支那川鶉

星羽白

嘴廣鴨

2/5,

大鶉

大鷹

○3/5大千鳥

○アネハヅル

○ウヅラ

3/5シベリヤムクドリ

○小嘴ビンズエ

チョゲンボー

7/5大ワシ

〃 シギ

〃 隼

○ムクドリ

○8/V小青足シギ

小脊^マ[背]黒カモメ

○9/5 八丈ツグミ

○〃 喉黒ツグミ

○姫ヒシクヒ

田シギ

○10尾白トウネン

○小ホ、アカ

○北爪長セキレ

○西比利ジス^マ[ユ]リン

○眉白田ヒバリ

オシトリ

○常ヒタキ 70種

11/5

○尾白ヒタキ

嘴太アジサシ

○脊[背]黒白腹[腹]アジサシ

○黄セキレ

○コクマルガラス

○トラツクミ

○田ヒバリ

12/5旅行途中ノ鳥

ラマグルス、ジャライノール間

ヒシクヒ □

白鳥

サカツラガン

真鴨

尾長鴨

カルガモ

キンクロ羽白

ホシ羽白

小青足シキ

尾白トウネン

タカブシキ

マンシウノスリ

チウヒ

チヨゲンボ

大千鳥

首輪皓天子

皓天子

中ヒバリ

小ヒバリ

満洲[州]小ヒバリ

砂漠ヒタキ

黄頭爪長セキレ

西比利ホジロ

西比利シユリン

小ホ、アカ

北爪長セキレ

西比利白セキレ

白セキレ

台湾白セキレ

乘長

眉白タヒバリ

田ヒバリ

首ワカモメ

鶴

四月廿一日

七時出獵。南方ニ於テ突出セル半嶋様の処ニ多数の雁[雁]居るを認ム。進行中大形ツグミ六七羽を見タルモ逸せり。惜シキ限りナリ。サカツラ[雁]二羽ヅ、数度来リシも致命傷ヲ与へ得ず。二度共翼毛オ沢山千切られモフラフラニなりて風下ニ流れ行ケリ。三度目ニ来リシ者ニ一射オ下シ三号にて♀オ射しも逸セリ。蒙古の沙漠の突風オ突て帰宅セリ。恐る可き砂塵宙天シテ四方暗シ。鴨共も驚て飛回レリ。

四月二十二日

風速十五六米突位ニテ寒気強、一旦解氷セシ沼地ハ結氷セリ。故ニ雁[雁]類は割合ニ小[少]かりし。三里程ノ地点ニサカツラ[雁]八羽居リタルオ小歩影ヨリ射撃セシニ三羽傷キ二羽ハ二百間位ノ沼ノ中と岡とニ落ち横岡膝迄没入シテ取り来レリ。一羽ハ遂ニ見へず。帰ラントテ草原オ歩キ居リシニ昨日見ヘシ大形ノツグミチラト見シ故直ニ十号ニテ一射シタルニ遂ニ逸セリ。此日家ヨリ一里位ノ地点ニテ遂ニ此者オ得タリ。我日満目録ニ記載無キ大形の喉胸栗色下面白ク脊[背]面灰鼠色ノ者ナリシ。

大黄腹[腹]四十柄ハ此日始メテ渡来せる者ノ如クニ六[羽]オ見タリ。

山ヒバリハ少シ一羽オ見テ得タリ。

浜ヒバリハ色彩暗色ニテ蒙古浜ヒバリニ比シ尾モ短ク小形らしク見ユ。

ス、[ダ]メ此の方面ニハ二種ノ異リタル者オ見ル。是ハ一ハ甚た暗色ニテ頭上特ニ黒栗色オ帶タリ。一ハ普通スバメノ如キモ脊[背]面淡色ナリ。

紅嘴鳥ハ夕陽時寺院ノ家根ニ来リテ宿ル。朝早くヨリキヤキヤと鳴キ居レリ。

頭黒カモメ一羽オ見脊[背]黒ハ多シ。

四月廿三日

本日北東方面ニ三里半程行キテ帰ル。途中大フクロニ出会セルモ射筒及十二号弾ノミナリシ故遂ニ逸セリ。北ボジロト思ハル、♀オ得タリ。翼長大ニシテ細カキ長[斑]胸及脇ニ散在ス。蒙古入苗雀は非常ニ濃厚の色彩ヲ有シ頭上ハ一寸見レバ黒ク見ユル位ニテ尾モ黒褐色ナリ。雁[雁]の群も多数ニ居るも当日は皆サカツラ[雁]ノミナリ。

四月廿五日

夜明ケ前ヨリ東南風とナリ雨降り始ム。前七時ニ小降り

トナレリ。北方ニ行^ツ雁^ツ非常ニ多シ。本日黄足脊^ツ[背]黒鷗オ得タリ。多数ニ見ヘ居レリ。嘴ハ全部黄足ニテ尾も白ク翼ニ褐色部在リテ第一ニ羽ノミ白^ツ■[斑]在リ。地形^ツ重^ツ[悪]シク南方と異リ^ツ雁^ツ鴨等ニ接近シ易キ場処少シ。セキレ、爪長、ホジロ等コウテンシ等ノ渡リナリ。

四月廿六日

夜明前三時頃ヨリ大吹^ツ雲^ツ[雪]トナリ室内ノ温度降りテ雪ハ布團ノ上ニ白クナレリ。一寸先モ見ヘズ為メニ出獵シ兼タリ。雀も困リテ窓ニ来る者多シ。蒙古特産ト称シテ佳ナル可ク淡色大形ナリ。午後ニ至ルモ已^ツ[止]マズ。

日本語オ少シ話ス蒙古人ブリナ（蒙名）

善吉米図布ト称ス。

本日ハ終日少々ツ、降雪吹ナリ。

四月廿七日

風無ク温和ノ日ナルモ昨日来ノ雪吹ノ為鳥類ハ極メテ少クナレリ。唯川ノ中心ノミ流氷盛ナリ。是ニ鷗種々居るも捕ル事オ得ズ。折角頭黒カモメニ羽オ射落セシモ向岸ニ流レ行ケリ。

蒙古小ヒバリニ羽オ得タリ。

蒙古野兎ハ黄褐色ニ富ミ下面灰白色ニテ手足ノ胼面は白シ。尾は短キ^ツ棘^ツ[棘]毛密生シ居リテ割合短シ。

四月廿八日

寒気強ク思フ程鳥ハ飛来セズ。此頃丁度五羽十羽と云フ小群ノ嘴太ヒシクヒニ出会ス。三羽オ射落シタルモ河向ヘ一羽落テ採レズ。

四月廿九日

昨夜来弾込仕度し置キ、本日二種九羽ノ鷗オ得タリ。頭黒カモメハ褐色ノ頭部オ有ス、嘴太ヒバリオ得タリ。

嘴黒ヒタキノ♂オ得タリ。

思フニ廿五日以来ノ雪ノ為メ^ツ防^ツ[妨]害セラレテ渡鳥モ一時中断サレタル形ニ在リ。然ラサレバ多種多数ノ標本オ得ベカリシ者オ惜シメテモ尚余リ在リ時間は来る五月十四日ニ当地ヲ引揚げて、札拉木特駅ニ行ク筈故大切ナル当地ノ渡鳥ノ候ニは間ニ会ハスシテ立テ行クハ如何ニも残り惜ヘ気ガサルノデ在るが致し方無く五月初旬ヨリ六月末ニ掛ければ大低^ツ[抵]^ツノ鳥類ハ捕獲シ得るので在るが已むを得ザルナリ。此ノ湖河ノ附近産卵営巢する鳥類ハ無論多種多様ナル可キモ尤モ^ツ静温^ツ[穩]ニテ湖中ノデルタニ産殖スルヲ得可シ。其ハ人が其ノ処ニ行キ得ヌ事ニ在ル。無論蒙古人ハ当地ニ居る者ハ喇嘛僧ノミナル故彼等ハ狩獵オスル者ニ非ズ。亦漁スル者ニ非ズ。故ニ彼等ハ

自然ノ儘ニ何等分^ツ[文]明ノ空気ニ浴セテ死ニ行くので在ル。彼等ハ草食をセス唯羊肉オ食スルノミ。馬肉ハ決シテ食セズ。此ノ曠^ツ[広]漠無限ノ平原ニ牧畜シテ其ま、地下ニ入るので在る。憐ム可キ哉我北海道ノ如き寂寥大ノ土地ニテやれ牧畜ノやれ何のとさわき居る人間共も亦憐れな者で在る。此ノ曠^ツ[広]■[漠]無限ノ原野を見れば驚くならん。

四月卅日

本日雪小^ツ[少]シク解けたる様子なる故南方ニ行きたるも一向面白キ獲物は無かりき。唯黄足脊^ツ[背]黒カモメ及ホシハジロオ湖中射落したるも取るニ方法無く中は結氷シ居る故行く事を得ざりき。

五月

~~五月~~一日

東北方ニ行ク。此日余リ鳥飛バス。余ハ帰路ニ土栗兎ニ頭オ得タリ。鷗類ハ射撃シテモ遠クニ行キテ落死スル故弾ノミ多ク空費セリ。

五月二日

本日南方ニ行キタルニ^ツ雁^ツ及筑紫鴨等ヲ射落シタルモ湖中ニ落チテ捕ル事不能抛テ帰レリ。先日ノ鴨及鷗等ハ鷹ニ喰ハレテ遂ニ骨となり居タリ。此日一向近ク飛ハズ。白鴨、サカツラ^ツ雁^ツオ失フ。

五月三日

本日タイノル湖ニ行キシモ珍ラシキ者オ見ズ。小丘ニテ姫兔ニ頭オ得亦帰路黄頭爪長ホジロオ得タリ。至ル処ニ兔ノ糞は在レトモ外部ニ余リ出サル者ノ如シ。土栗兎モ漸ク此ノ頃土表ニ現バ来リシ者ニテ二三日前ヨリ漸ク二三頭オ得タリ。

大千鳥ノ生殖羽ノ一番オ得タリ。

五月四日

本日西比利白セキレーオ得タリ。腮喉ハ全ク黒色ニテ台湾白ノ翼ヨリモ色褐色ニ富ム。本日サカツラ^ツ雁^ツオ射落シテ三射漸ク止ム。ウヅラオ得タリ。

此ノ頃全ク雪ハ見ヘズナリ。廣き湖面ノ各処ニ水禽ノ群居ルヲ見る。

五月五日

東方ニ行ク。雪消後種々ノ小哺乳類出来リテ兔ハ巷里半位ノ草原ニ相当ニ穴オ掘リ居テ是ニトラップオ置テ捕獲ス。本日四頭オ得タリ。

五月六[日]

昨日の処ニ行ク。姫兔二頭オ得タリ。嘴太ヒシクヒ四羽居リタル者ニ二射シテ二羽オ落シタルモ河オ越テ一羽落タルモ得ス。一羽丈けオ得タリ。下嘴高十四ミリニ達ス。筑紫鴨岡ニ居りたる者ニ二射二羽オ得タリ。

本日ツグミラシキ者オ見タリ。

食料欠亡^{ツツ}[乏]シ始め閉口セリ。一日二舛オ食スルニハ驚きたり。

五月七日

寺院の裏ニアネ羽鶴降下シタルモ横岡行キテ一射シテ負傷セシメ逸セリ。

大ワシ二羽オ見タリ。

五月八日

北風吹テ寒ク白雪チラリト降るオ見シモ間モ無ク止ミ又、余ハ北方ヘ横岡ハ南方ニ行ク。シキの群オ見シ由ナルモ接近シ得ズ。

△小青足シギヲ得タリ。余ハ丁度頭黒鷗ノ大サオ有スル脊^{ツツ}[背]黒カモメオ二回見シモ一射遠方ニ河ヲ越テ落ち行キ取ルオ得ズ。

五月九日

東方ニ行ク。*喉黒ツグミ一羽オ直ニ*八丈ツグミオ得亦帰路同処ニテ*喉赤ツグミ六羽ノ群ニ出会シ二羽オ小弾無カリシ為逸セリ。支那の尼古家ノ処ニテ*蒙古ワシオ打落シタリ。此日*脊^{ツツ}[背]赤袋兎オ得直ニトラップヲ置キタルモ如何ニや。支那馬車ハダライノール駅迄金十五円ニテ行ク由約束セリ。

五月十日

本日東方ニ行キ亦トラップオ見回ル。帰路*眉白田ヒバリポツ渡リ来ルオ見*西比利ジユリンハ厚^{ツツ}[多]クナケレトモ一帯ニ二三ツ、来リ。亦北爪長セキレ及*尾白トウネンの群其処ニモ此処ニモ見られ珍ラシキ事共ナリ。*小青足シギハ群オナシテ渡来シ余ハ相当ニ得タリ。此日オシトリヲ見タリ。

五月十二日

兼テ食糧欠亡^{ツツ}[乏]ノ為め出発せんと思ヘ居リシ事と自動車ヲ呼寄セレバ六十円オ要スル故未ダ鳥類ノ採集ス可キ者多キモ已ム無く出発スル事とシタリ。前四時起床直ニ旅装シ馬車ノ来ルオ待居リシニ六時半来リシモ二台ノ約束ノ処一台ヨリ来ラス。直ニ荷物積込ミ出発セシハ七時ナリ。色々の鳥オ見タリ。ジャイール駅ニハ旅館無く壹里余リ離レシ炭壙^{ツツ}[坑]ノ在所ニシテイノールホテルと云

フニ宿リシハ夜九時頃ナリ。目撃鳥類左の如シ

オシドリ ○ トラツグミ ○

大千鳥 三回ニテ番^{ツツ}[鷗]オ見タリ。逸ス。鶴遠方故、白ク見ヘタルモ兎鶴カ。首輪皓天子 唯一羽。脊^{ツツ}[背]黒白服^{ツツ}[腹]アジサシ、シヤウドウ燕 二羽 渡来ノ始メカ。カル鴨橋ノ下方ニテ岸ヨリ十間位ノ処ニ見ラレタリ。其他今迄採集セシ鳥類多シ。西比利爪長ホジロの大群ニ数十回出会ス。此ノ種ハ約一ヶ月以前ヨリ渡リ始メ毎日多数の群オ見ヌト云ふ事無シ。

{アレニジヤ (僧ラマ)}

{札賚威爾旅館 札来諾爾}

二十三日間宿リシラマグル寺ニ離レテ寺院ニハ金十円ヲ寄贈シ其々残品ヲ与フ。馬車ハ金十円ニテ落着せしめたり。ジャライノール満洲[州]里間ハ自動車一回在る由ニテ買切リナレハ半日デモ二十円ナリとか。ジャライノール満洲[州]里間ハ約七里ナリト。

五月十三日

前十壺時満洲[州]里駅東亜旅館ニ着ス。札来諾爾満洲[州]里間ハ東方ニハ水溜や小川在リテ小山復重せる中ニ沢地ヲ見柳の木ノ所々ニ生セルオ見蒙古ヨリ来リシ目ニハ珍ラシ。満洲[州]里方面ニハ山山相重なり到底^{ツツ}[底]採集地としてハ不可ノ所ナリ。寧口駅近キ石炭壙^{ツツ}[坑]の在る部落オ撰ムガ良シカラン。直ニ小包用材オ買ニ駆ラシメシモ薄手ノ板無ク漸ク二枚ノ板トツマ板一枚トオ得テ代金二円十銭支拂フ。製作ニ一日間ヲ要セリ。小包ハ中々面倒ニテ一々税関ノ検査オ要シ満[州]里以外税関無キオ以テ哈爾濱ニテ全部引的メ検査シテ内地ニ送る由ナリ。小包糸ハ一ケ分廿五銭以上ニ付き頗る高価ナリ。

五月十四日

本日午後三時半小包三ヶオ山階家ヘ送る可ク横岡、羽田ノ二名ニ命ジ置シ所金額ノ点ニ就キ照会シ来リ。亦税関ノ手数料十銭徴シタリ。即チ今見積

レバ 小包一ヶ

一、糸 一ヶ分廿五銭オ要ス

一、釘 三銭 オ要ス

一、板 七十銭

一、手間 三円五十銭オ要ス一人ノ宿料及手当共

一、壹円二十銭 小包料金

一、十銭 税関手数料

一、五円也 一行二人とシテ滞在一日トシテモ

一、七十五銭 パッキング^{ツツ}[グ]ノ綿及ナフタリン

合計 金拾壹円七十三銭オ要ス

右ノ表ハ實際要セル者ノミナリ。其高価振リニハ驚クノ外無シ。

石油一箱十壺円五十銭日賃十二円六十五銭ナリ。是ヨリ炊事ニハ石油厨爐オ使用セシト思ヘ買取りたり。一ケ金五円五十銭ナリ。諸般ノ買物オ終リシハ夜間トナレリ。

五月十五日 好天

此ノ頃好天気ナレトモ時々曇リテ雪チラチラスル事在リ。然シ乍ラ最早や左程寒カラズ。草モ一寸位青色オ帯ベリ。

満洲[州]里ニハ火薬銃砲店有レトモ無シ。其の訳ハ近来満洲[州]国トナリシ以来特ニ嚴重ニ取締りし為め日本製火薬百匁金參円五十銭ニテ買ヘ得ラルハ前日露人ノ獵夫等蒙古ヨリ帰路色々話シタリシニ本日四方八方尋ネタルモ販売先不明ナリ。寧口密売ヲ助長セシムル取り締と云フ可ク。余程近親ノ者ニ非ル限り販売セヌ者ト考ラル。困た者ナリ。一々哈爾濱迄弾薬オ買ニ行く事ハ非常ニ^マ聖[経]費オ要[シ]、汽車値三十五円と食費五円と宿泊一泊として六円三日間雇人ノ手当オ算セバ百円以内ノ火薬ハ五十三円余ノ運賃オ要シ今黒色三匁オ買取レハ壺百五十八円とナリ十二番^マ聖[径]二千発分とナル。是ニ雷管及発火金等及送り散弾オ見積レバ

火薬 8.5

管等 2

送り 1.5

散 3.5

□50 15.0

上表ノ如ク黒色火薬ニテ一発実ニ二十五銭トナル。

電燈会社丸嶋氏ニ^マ問[合]セタルモ火薬ノ在リ所一向不明。已ム無ク補充ノ為め其内哈爾濱ニ誰カオ遣スヨリ外無シ。

本日 鷹司家 山階家
石沢健夫氏 自家
山田正吉氏

へ書面オ出セリ。

三個ノ小包デ

小包ハ鳥二百十三個

哺三十頭 合計貳百四十參個

札羅木得

汽車ハ遅延シテ十時頃本駅ヘ着セリ。夜間ノ事ニテ実ニ^マ旅[宿]ル可キ家ニ困リタリシモ駅助役ノ好意ニ^マ抛リ漸く満人ノ一室六疊位ノ処オ借り毛布一枚ツ、ニテ本夜オ明シタリ。

五月十六日

早朝ヨリ手入掃除シテ鳥ノ乾燥棚オ造るヤラ製作机ノ位置オ直ス等ニテ半日オ費セリ。店舗一軒在るモ高価ナリバター一斤七十銭ナリ。当地店ニテ石油一箱十七円五十銭ナリト高価過ク。涯下ノ低地ヨリ~~サカツラガ~~赤ツクシガモノ卵(横に「白色」のメモ)オ採集セリ。鳥羽毛及枯草等オ敷ケリ。卵長^マ聖[径]七十一ミリ横^マ聖[径]四十八ミリ在リ。重量廿三匁二分。十五^マ果[果]ノ多数ナリシ。一ケ破損ス。

真鴨ハ長^マ聖[径]六十横^マ聖[径]4/1 淡青亜色ナリ。

十四匁前後十一ケ在中

札羅木得 ^{附近}鳥類 ^{昭和十年五月十六日ヨリ}
^{実見} 至同年六月四日

、スマ●メ

、家スマメ

、中ヒバリ(樺太)

、眉白田ヒバリ

、小嘴ビンズイ

、小ホ、赤

、黄頭セキレ

、西比利白セキレ

○高麗鳩

、鷺

、ハイタカ?

、真鴨

、サカツラ^マ雁[雁]

、ハツ頭

アイサ

尾長鴨

○コクマルカラス

青サギ

、鍋ケリ

○山ウヅラ

17/5トビ

○岩ヒバリ

、トラツグミ

○西比利雨燕

○腰赤燕

○満洲[州]トラフヅク

○ワシ耳ヅク(満洲[州])

○山ヒバリ

○チョゲンボー

- 磯シギ
18/5 尾白ヒタキ
○縞青地
○赤筑紫鴨
滿洲[州]ノスリ
、西比利ジュリン
○西比利青地
、嘴黒ヒタキ
○キジバト
○樺太蟲喰
○ジョヒタキ
○野ゴマ及大野ゴマ
○ツミ
20/5 カルガモ
○小蟲喰
、ヨシガモ
○21/5 西比利ムクドリ
- 赤ハ其土地テ捕獲セル者及既ニ採集済ノ者
- 21/5 小ジュリン
22/5 黒服[腹]アジサシ
○赤服[腹]燕
ホトトキス
郭公
西比利岩燕
23/5 西比利眉白
、蒙古ワシ
、宙飛
●灰色宙ヒ
、ムクドリ
、黄頭爪長セキレ
○北爪長セキレ
○胸赤田ヒバリ
25/5 ヨシキリ
○眉茶シナイ
26/5 ○頬赤
○シヤウドウ燕
○シベリヤシヤウドウ燕
、鍋ケリ
27/5 ○爪長セキレ
○眉白爪長セキレ
、タカブシギ
○シマアジカモ
○ヤマシギ
- 28/5 ○アジサシ
○ムジセッカ
ヒバリシキ
、小千鳥
、蒙古脊[背]黒カモメ
30/5 ○小ルリ
29/5 西比利爪長セキレ
赤足シギ
30/5 ○ムナグロ
〃○ヒメクエナ
○嘴廣鴨
厂[雁]
ナベヅル
31/5 ○唐赤モズ
○シベリヤセンニウ
〃○シマ赤モズ ○マキノセンニウ
〃○西比利ヨタカ
1/6 柳蟲喰
○白服[腹]モズ
○嘴太ヨシキリ
○ウグエス
○ハギマシコ
○尾長センニウ（唐知目鳥）
~~シベリアシヤウドウ燕~~
- 五月拾七日
横岡君オ海拉爾ニ買物遣ス。余等ハトラップオ置キ河岸上流ニ向フ。大フクロオ見タルモー寸ノ間故射撃スル事出来ザリシ。鳩ハ至ル処ニ巢オ造リ居タリ。大モグラハ至ル処大ナル土山オ築キ置ケリ。新シキハ最近解雪後土オ外部ニ出セル者ナリ。是ニ数個ノ銃オ置ケリ。
- 五月十八日
東方ニ向テ河ニ沿テ進行ス。河岸ハ南方急斜オナシ頂上ハ主トシテ断涯オナセリ。茲ニ筑紫鴨及真鴨コクマルカラス、ムク等各種鳥集リテ高麗鳩等営巢ス。高キ処六百尺位ナリ。ワシ多シ。
哈爾濱行横岡君オ遣ス。夜九時当地出立ス。
- 五月十九日雨及雪
小鳥種々渡来セルモ天候不良ノ為七時出掛一時半帰宅セリ。
- 五月廿日
本日樺太蟲喰及黄眉蟲喰等始メテ渡来ス。尾白ヒタキハ

盛ニ渡リツ、在リ。山ヒバリハ散漫な渡りオナシツ、在リ。

五月廿一日

前三時横岡君哈爾濱ヨリ弾薬持参帰来ス。直ニ食後出掛タリ。

西比利亜ムクトリ始メテ見ラル。

眉白田ヒバリハ薄キモ至ル処ニ見ラル。

小ジユリンノ♀ラシキ一羽オ始メテ獲タリ。野ゴマハ河岸ノ岩石原ニ多ク見ラル。

五月廿二日

ウス赤モズハ先日一羽及本日一羽オ見テ是ヲ得タルモ甚ダ少希種ト云フ可シ。*山ウヅラ四羽オ見テ内ニ二羽オ得タリ。*山シギノ下尾筒ノ黒カラザル物一羽オ得タリ。普通山シギハ下尾筒黒キニ是ハ黄褐色オ帯ビテ褐色横■[斑]在リ。赤筑紫鴨オ巢ニトラップオ置キ捕タリ。夜十一時漸ク仕事オ終リタリ。

五月廿三日

北方の涯ニ罾オ置キシニ*赤筑紫鴨二羽オ得タリ。唯♀ノミ穴ニ入ル者ナラン。是ハ三羽ノ♀オ取リシモ何れも♀ノミ引掛リ居る処ヨリ推セバ間違無キ処ナリ。*西比利眉白オ一羽見タリ。色彩ハ鉄青色オ帯タリ。

五月廿四日

河流ニ沿テ下方ニ向フ。十一時迄歩キシモ林モ無キ一帯ノ平地故一向鳥オ見サリキ。*アジサシ一羽遠方ヨリ見シモ何レニカ去ル。*鷺二羽中天高く涯ノ上方オ舞ヘ居レリ。*赤服[腹]燕ハ漸ク此ノ頃多クナリ行ケリ。人家ノ附近ノミ飛歩ク故射撃出来ず困リタリ。野ニ出レバ訳も無ク打取る事出来るニ。

五月廿五日

河水ハ嵩ミタリ。是ハ南風吹キシ為ニ大興安嶺一度ニ解雪ニ依ルナラン。草ハ平均二寸位ニ延[延]ビタリ。本日鹿三頭オ見タルモ平原及緩斜ノ小山故遠方ヨリ彼等ニ発見サル。遂ニ三十間程ノ沢中ニ於テ耳ヲ見テ接近シ漸ク三十間位迄行キシ故起上リタル処ヲ一射セシニ右前足オ折リタリ。次射ハBB故三十間以上在リタルト下方ノ沢中オ右方ニ走ル者オ射シ故直線デハ在リシガ脚ニ散弾土烟リヲ揚ゲルオ見タリ。直ニ追走シタルニ彼ハ余リ良く走レヌ故大丈夫獲シ者ト思ヘ一散走リニ近接セントスル内彼モ元氣回復シ走り出セリ。追々ニ巨[距]離多クナリシ処ヘ露人馬ニテ追走セシモ中々接近出来ズ。遂十数町

離レタル低地ニ追ヘ行くオ見馬も人も見ヘズナリタル故余ハ其マ、引揚ケタリ。*ヨシキリオ見ル何亜種か。

五月廿六日

東方二里ノ地点ニ至リシニ*シヤウ洞燕二種オ得本日初メテ*ホ、アカ渡来セリ。眉白田ヒバリハ此ノ地方一帯ニ渡リ番トナリ居リ寧口中雲雀ヨリ多シ。*ウス赤モズハ全ク雌雄同色ナリ。

五月廿七日

西方ノ沼地帯と河ノ辺ニ行キシニ*羽白黒服[腹]アジサシ多く渡来セリ。

*爪長セキレイモ渡リ始メタリ。

*胸赤田ヒバリ及 田ヒバリ

*眉白爪長セキレー羽オ得タリ。

本日温暖ナリ。

五月廿八日

本日横岡君オ興安嶺站ニ遣シ借家の件オ交渉ス。憲兵隊ニテ宜シキ様ニ取計フ様ニ約束シテ帰来セリ。

五月卅日

南西ニ行キ赤足シキオ得亦胸黒ノ群が附近オ飛び行ケルニ十二号オ一射シテ一羽オ得タリ。叱鴨ハ漸ク♂一羽オ得亦シマアジハ遠方ヨリ射撃シテ負傷せしメ脚オ一本打折リテ遠方ニ行キテ多分死するならんと思ハル。

五月卅一日

水辺ニ行キシニ既ニ先日ヨリ気温上昇ノ為メ水ニ入りテモ冷気無シ。*シマアジカモオ得亦*山麓ニハ*唐赤モズ、*シマアカモズ、等オ獲タリ山ウヅラ本日三羽オ得タリ。*西比利ヨタカハ濃栗色ノ■[斑]オ有シ他ノ者と区分シ易シ。皓天子及中ヒバリノ卵、巢、オ得テ早く帰ル。

六月一日

本日東方ニ向フ~~無ク~~毛足ノスリ?の巢オ発見ス。雛四羽居リテ二週間位ノ日数ヲ~~至~~[経]シ者ラシ。余ハ翌日親鳥オ得ン者ト早朝此ノ断涯下ニ至リ静ニ接近4A、の紋筒オ向ヘ今や飛出し者ニ急射オセント思ヘ見揚ケシニ親鳥ハ巢ノ横ニ止マリ居リタリ幸ヒト直ニ4、A、一射セシニ二十五間位ノ所ナルニコロリト落チズニ飛出セリ。スワト計リ第二BB弾一射セルモ是モ羽毛ヲ飛散セシメシノミニテ弱リ乍ラも何処共無く山オ回りテ行去リタリ残■[念]。帰路此ノ巢ノ手前ニ一射嘴太ヨシキリオ射シ音ニ又モヤ一羽熊タカ此ノ巢ヨリ飛出セリ多分何れか一方の親鳥ナラ斯ク迄打附ケラレシ親鳥ハ何れ到[倒]

レル事は明かデ在ル。明日ハ興安山行キ荷造り故本三日
是非共此ノ難及親鳥ノ一方オ取ル可ク仕度シタリ。一日
ニ見シ鳥類ハ
尾長センニウ 嘴太ヨシキリ
柳蟲喰

—小ガモ
—ウヅラ
—ムヂセツカ
—嘴太ヨシキリ

六月三日

天気晴郎^{アツ}此ノ頃風吹ケ共雨ハ余リ降ラス。西比利、
満洲^{アツ}[州]ノ春季ハ風多い丈^{アツ}ニテ降雨無シト云フテ差支
ヘ無カル可シ。

六月四日

荷物造リニテ多忙。赤服^{アツ}[腹]ツバメオ得タリ。

六月五日

正午迄ニ札羅木徳駅ニ荷物オ全部出し色々交渉セシも貨
物車の方高き運賃ナルニハ驚タリ。標本ハ普^{アツ}[通]貨物の
五倍ナル由二時間行程の処ニ式十一[八?]円を要する由。
野蕃国の規則ハ致し方無き事乍ら是でハ開発なぞは以て
の外と云フの外無シ。四等車の牛馬に同様ニテ然も運賃
ハ二等以上ニ高華^{アツ}[価]ニハ閉口セリ。動ヨウ甚だしく雨
漏るニハ困レリ。

大興安山ノ鳥類 自昭和十年六月六日
至七月十六日迄
○：初メテノ者 —：既ニ採集ノ物

6/6

—スマメ
—イ、スマメ
○シラガホジロ
—テウセンシマアオジ
—コムシクヒ
—ピンズイ
○アカマシコ
—ノビタキ
—シヤウドウツバメ
—アカハラツバメ
—コクマルガラス
ハイイロチウヒ
—白服^{アツ}[腹] モズ
○アームルエゾライテウ
—キガシラツメナガセキレイ
マガモ

○クワツコー

○北満河原ヒワ

7/VI ○樺太ムヂセツカ 六月十五日頃迄
ニ東北方

7/VI ○尾長紅マシコ

〃—カラアオジ
〃ハシボソガラス
〃ミヤマカケス
〃○コサメビタキ
〃ノスリ
〃大尺シギ
〃ールリヒタキ

8/VI ○ヒメイソヒヨ

〃ツミ
〃—キジバト
〃○イゾヒタキ
〃○小赤ゲラ
〃○小ハシ嘴太ガラ (バイカル)
〃○嘴太五十柄
〃○アームル五十柄

9/VI カシラダカ

○シベリアオホアカゲラ
—~~シベリヤ~~コシアカツバメ (満洲^{アツ}[州])
○クマゲラ
○シマノジコ
—ヤナギムシクヒ

10/6 —マミチヤジナイ

46、

白服^{アツ}[腹]ホジロ

○赤モズ
11/VI ○眉白大セツカ
—シベリヤアリスエ

13/VI ○黒ライテウ

〃○深山ホジロ
〃尾長センニウ
〃○シベリヤシヤウドウツバメ

14/VI ○シマセンニウ

〃○嘴太赤ゲラ
16/VI ○シベリヤセンニウ

○夷センニウ

○小ヨシキリ

17/VI ○三指ゲラ

18/VI ○~~西比利センニウ~~ 眉白田ヒバリ

〃〇中ヒバリ

〃ヒクヒナ

21/VI 〇バイカルコガラ

23/VI テウセンヤブサメ

25/VI シマエナガ

〇黄眉小ヨシキリ

1/VII 〇満洲[州]樺太フクロ

13/VII マンシウワタリガラス

{興安站}

兼て日本憲兵隊ニ依頼し置シ事とて丁度良き露西亜人の室ニケオ借り入るを得タリ。月二十金円也日本廿二日也。

六月七日

北方ノ昔日大運動オナセシ鹿ノ多ク居リし樹林オ目差して行キシモ大樹ハ一モ無く稚林ノミニテ一向啄木鳥類ノ跡モ無シ。小河ノ岸ニハ盛ンヨシキリノ鳴声オ聞キ、高地ニハ深山カケス五羽ノ群北方ニ急クオ見タリ。

六月八日

横岡君南方ヨリ小バンハシ太カラ一羽及小赤ゲラ♀一嘴長五十柄及アームル五十柄等オ獲テ帰ル。余ハ此日隧道上ノ古道オ行キ兎ノ居処オ知り最高峯オ尅週[周]シテテ姫磯ヒヨニ羽オ得テ帰ル。

七[六]月九日

南方四里(直[徑])行程ノ処ニ至ル。炭焼竈多シ。小柄及帰路大赤ゲラ及ノロ鹿四頭オ見タリ。

六月十日

満洲[州]熊ゲラハ其体大キク肛門ノ週[周]圍ノ白毛オ欠キ跗蹠ハ距ニ迄黒毛オ蒙ル点異レリ。本日トラップ三十九個オ置ク。

六月十尅日

本日昨日ノ小罾ニ行キシニ唯三頭ノ灰服[腹]谷兎オ得シノミ。*眉白大セツカオ得タルモ大破シニ参考品ノ外致し方無シ。本日山階家へ啄木鳥其他ニ付て報告オ書く。

六月十二日

昨日来ノトラップオ羽田をして見舞らしむ。三頭ノ兎及*大モグラオ得タリ。余ハ北方ニ出掛け鹿一頭及ノロ二頭オ見タリ。*西比利アリスエノ巢ハ柏ノ大木ノ穴ニ営マル。

六月拾三日 *黒ライ鳥

前七時北方ニ向テ昨日ノ鹿オ尋ネテ行キシモ本日ハ見当ラズ。亦処オ異ヘシ為め*アリスエノ巢ノ所在ニ見当ラス。途中*尾長センニウ一羽オ見タルモ藪中ニ入りテ逸

セリ。*深山ホ、ジロハ本日初メテ見テ全二羽オ得亦*黒ライ鳥ノ♀ノ既ニ産卵シ終リシ者ト思ハル、一羽不意ニ飛出セシオ以テ鹿弾オ込メ置きシモ一射地ニ落シテ行キテ見シニ右脇ヨリ入りテ左ノ羽根オ打折リタリ。二時間半オ費シテ漸ク製作セリ。此ノ者ノ*卵黄ハ直[徑]*二十二ミ[リ]在リタリ。然シ輸卵管ノ意外ニ発達シ居ル処ヨリ見レバ既ニ産卵シ終リシ者ト思ハル。

{声}

六月拾四日 キハシ丸ハシノ鳴声

本日北方ニ趣[赴]ク。右方ノ山々は一向大者オ見ズ。左方突山ニ行キタルモ大者ニ出会せず。*アリスエノ巢ハ未ダ半造ノ物ナリキ、此日異リタル*鳥ノ鳴声オ聞キシモ何鳥ナルカオ確メ得ズ。*ビンズイ、*ノビタキ等ノ巢オ得タリ。居宅ニ帰り来リシニ横岡君四日目ニテ漸ク帰り来レリ。*赤ゲラ(嘴太)ヲ捕獲シ来ル。*シマセンニウ一羽オ得タリ。

未ダ山階家ヨリ小包領収ノ報ニ接セズ(五月十四日出)。

六月十五日

東北方ニ趣[赴]谷間ニ於ケル岩石畳々タル処ニ*満洲[州]啼兔居るオ確ム。

六月十六日

罾オ持テ谷間ノ*啼兔オ得ク仕掛ケタリ。西方高地ノ草深カラザル処ニ於テ*黒ライ鳥♂二羽ツ、数回ニ見掛ケタルモ遠方ナリシ為メ遂ニ得ズ。

本日左記ノ種新ニ採集ス

夷センニウ

小ヨシキリ

シベリヤセンニウ

啼兔 六月十五日北西八キロノ地迄

*灰色宙ヒ、巢オ発見卵六果ヨリ成リ既ニ初ノ者ハ二個進行シテ破殻シツ、在リ為ニ其マ、置キ来レリ。

六月十七日

本日東方ノ高地ノ谷間ニ樹林在ルオ先日探検セシオ以テ趣[赴]キシニ*三指ケラ居リタリ。*熊ケラモ合セテ得タリ。此日啼兔オ射タルモ穴ニ入りリテ取レズ。鹿二頭走ルオ見タリ。夷センニウハ漸ク渡リ来リシガ如ク方々ニ鳴声オ聞ク。*ミソサバエオ見タリと羽田云ヘリ。

六月十八日

本日黒ライ鳥一羽オ見シモ樹間ノ為め逸セリ。*シベリヤセンニウオ得タリ。

六月十九日

本日横岡君を博克図ニ遣シ局へ交渉せしめ種々買物をなす。余ハ卵及菓等手入オナセリ。*十七号鼠オ得タリ。本朝山階家へ打電せんと要[用]意せしニ札拉木特ヨリ、山階家の書類を廻[回]送シ来ル。是ニ抛レば三ケの小包ハ真直ニ東京着せし者ニテ即チ日附ハ五月廿九日なり。

六月廿日

横岡君ト共ニシマセンニウ打ニ行キ北方ニ転シ黒ライテウオ尋ねタルモ見ズ。此日雉子ノ鳴声三回聞ケリ。

六月廿壹日

東北三里ノ地点ニ至ル。啼兔ノ集団棲ム処オ発見ス。帰路*ビンズイは最早や卵トシテハ役ニ立タザル程進行せる者及*モズノ進行セル者等オ見付タリ。三指ゲラニ羽オ得タリ。*柳蟲喰ハ此ノ方面の留鳥ラシク（夏産殖シテ）時々姿オ見ル。亦*バイカルコガラニ羽オ得タリ。思ふニ目下深く深山ニ棲ム者ト思ハル。

六月廿二日

南方三里の地点ニ至ル。熊ゲラの鳴声オ聞ク。亦三指ゲラ、夷センニウ等鳴キ居タリ。丁度嘴太赤ゲラオ射シ音響藪ニ返テ此の音ニ近ク接近シ来リシ鹿オ見附テ接近セシニ樹木臥木等ニ防[妨]害セラレテ处在不明トナリシ故余ハ立テ数歩前進セシニ突然右手ヨリ尤モ厚キ茂林オ後ロニ走ルオ見テ射直ニ横ニ切テ左方ヘ転スル者ニテ左腹[腹]目掛テ射オ送りシモ逸走セリ。然シ確カニ命中セシ事疑ハズ。然シ巨[距]離相当四十間位在リシ故或ハ致命傷ナラザリシヤモ不知。横岡ト離レテ余等ハ五時頃帰ル。

六月廿三日

本日南方ニ行キ梟ノ巢オ見附ケタリ。雛居リタリ。昨日射撃セシ鹿ハ脊[背]ニ二個横腹[腹]ニ一個命中シテ七十間位行キシ処ニ倒レ居タリ。直ニ肉オ取り運び各知人ニ分配ス。大約十四貫位ノ小形ノ者ヲナリシ。角ハ二枝ニテ三又ナラサリシ。

六月廿五日

東方ニ行キシニ兼テ下命シ置キタリシ熊ゲラヲオ打チタリシ為雛は空腹[腹]の余リ穴巢ヨリ出テ去リ死セル者ト思フ。帰路、鹿三頭オ見テ二射一丸足部命中シ左前肢オ折リ横岡はニ向テニ実弾オ送りシモ巨[距]離十間位ナルニ一弾遙下腹[腹]オ通過シ残部オ損傷するニ至らず。彼

の始メ一弾オ発して鹿ニ向テ追迫リ行ク後ろニ余の居リタルニ何等合図や知ラセオセヌハ彼ハ事ニ当テ無論類ムニ足ラヌ者で亦甚だ利己主義オ発露[露]セシ者デ在ル。*余ハ右脚オ何物ニカ後方ヨリ強ク打タレ倒レテ五分位起キ上るを得ず。漸ク歩行シ得る程度ニなり羽田オ呼ベ共彼ハ何れニ去ルヤ一向附近ニ無シ。後ニ聞けバ鹿オ追テ三時過ぎ捕ヘシ由なり。主人ニ付き従ヘ歩かざる職務を亡レシ馬鹿者なり。先日来度々下命せしも一モ余の云ふ通りトラップオ置カズ為ニ見込の在る多数ノ哺乳[類]オ捕リ失ふ。

六月廿五[六?]日

彼等二名南方ニ向テトラップオ置く可ク行ク。余ハ此日右脚痛ミ歩行シ難ク出獵セス。

六月廿七日 六十五度

本日も足部痛ミテ出獵出来ズ。午後七時ニ至ルモ横岡昨朝一泊掛ケテ出獵シタルま、未タ帰ラズ。

六月卅日

南方ニ出獵セシモ一向良キ獲物ニ出会セズ。鹿二頭オ見タリ。

七月一日

本日横岡九時半頃帰ル。三十番の先台器オ破損ス。フクロノ親子七羽オ昨日来尋ネテ全部オ得タリ。

七月二日 室内七十二度

午後修繕ノ為め博克図ニ向テ出掛タリ。

七月三日

ハンダ附オ了シ帰りタリ。満洲[州]国幣ニテ七円八十銭オ要セリ。

七月四日

余ハ小包ノ仕度ノ為メ羽田オシテ箱オ造ラシメ荷造リ始ム。

七月五日

本日も荷造オセリ山階家行の鳥ハ五百廿三ケ及哺乳類六十三頭及卵壺百三十一ケ巢十七ケ及雛四羽ナリ。

七月六日 気温室内七十七度

横岡泊掛ニテ出掛タリ。余ハ鹿角オ持帰ラント思ヘ行キシニ無シ。獸類ノ為メ喰ハレタルナラン。往路二頭ノ鹿オ見ル。

七月十一日

本日興安観測所新築落成式ニ一同ト共招待オ受ク、赤腹[腹]燕及、岩燕オ打つ。

七月十二日

ペトリヤ谷ニ行キ守備隊ノ営所附近ニテ腰赤燕オ射タリ。

七月十三日 夕七時半
七十四度

本日北方ニ行キ灰色宙ヒノ（横に「中」のメモ）雛を得タリ。満洲[州]里ニ小包を出す可く横岡十時五十分出立ス。

東京へ明細書を送り

自家へも書面を出す、余ハ病氣ニテ二日間休ム。

七月拾五日

前六時半横岡帰興ス。日曜なるニも不開[関]特ニ局長便宜取扱オ受ケタリ。小包料八円八十錢其他ノ費共参拾弍円七十五錢オ要セリ。

{室内朝六十九度}

七月十五日

好天気羽田は昨日来一頭も兎ハ取レズ

七月十六日

土兎老頭オ羽田採集シ来る。横岡本朝帰り来リ。日曜ナルニモ不開局長ノ好意ニヨリ本日発送の筈ナリ。

七月十五日迄ノ分

哺乳類老百十頭	四四〇
卵及雛	一五〇
混蟲	二五
鳥標本八百三十九△〇共	二六五八
斗三、三〇八	

七月十八日 雨

余リ博克凶局ヨリ為替ノ通知来ラヌ故横岡オ遣シタルニ漸く来着シ居る旨当日受取ル。九十五円五十錢ノ割ナリ。

[七月]十九日 朝六十八度

出立ノ仕度オナシ各方面ニ挨拶ニ廻ル。

七月十九日廿日前一時五十分

四十五日間住ミタル家オ出直ニ駅ニ至ル。鈴木憲兵当直ニテ駅ニ居リタリ。四五分の後発車セリ。七時半齊々哈爾爾ニ着（昂々浚）連絡無シ。馬車ニ依り東昂々溪ニ至リ乗車哈市ニ下車午後二時五十分発車迄五時間在リタリ。余ハ市中ニ至リ帽子オ買へ髪オ理シ正午駅前ノ食堂ニテ横岡ト一所に食事ス。齊々哈爾附近ハヤ、アジサシ類及サキ等オ見タリ。午後九時北安ニ着シ北安ホテルト云フニ投ズ。安価ナレトモ粗末ナリ。

七月廿壹日 朝六時廿五分

北安発各駅オ過ギテ漸く進行スルニ連レテ漸く小興安山脈[脈]ノ一部ラシキ丘オ見ルモ皆草原ナリ。腰嶺以南ハ沿線ヨリ離レシ東方ニハ少シく林在リ。西方ニハ三ケノ尖山在□（絵で富士のような形）形在リテ台地オナシシ。此週[周]圀ニハ密林在ルモ樺及白樺ノミナリ。分水ハ腰嶺附近ナリ。最近ノ健[建]設ニ係ハル者ナル故各駅ハ皆停車場ハ練瓦ニテ健[建]築中ニテ夙テ駅附近ニハ人家無ク黒河近キ各駅ニハ遠ク小部落オ認メタリ。孫吾駅ハ荷物オ取扱ハズ。ナル程新築中ニテ駅ニハ駅長ノ舎宅ノミナリ。遠ク日本ノ兵舎モ新築中ナルオ見ル。

並ニ北安間

興安、齊々哈爾間ノ鳥

七月廿日

コクマルカラス 多イ

満洲[州]ツバメ

腰赤ツバ

カル鴨 多

宙ヒ

マダラチウヒ

ス、メ

イ、スゞメ

シマアオジ

モス

チヨケンボー

ハシボソガラス？ ヤ、少

ホ、コノハツク

チ、ハル附近ヘ至ル

黒服[腹]アジサシ

青サギ

アジサシ

~~モス~~磯シギ

バン

アジサシ

北安、黒河間ノ鳥類 七月廿一日

一、腰赤ツバメ

マンシウツバメ

シヤウドウツバメ

ハシボソガラス

イ●ソシギ

シマアオジ

マタラチウヒ多シ

トビ

ホクマンキジ

ウサギ

アオサギ

五位サキ

アームルカサ、ギ

キジバト

チヨケンボー

ワシ

七月廿一日

午後五時瓊瑋ニ着ス。茲ハ河ヨリ五六里遠ク離レテ且又駅は村落ヨリ半里程巨[距]リ居リ、駅も新築中ニテ駅ニハ荷物丈け臨時取扱ヒ手荷ハ無論取扱ハズ。

黒河ハ七月廿二日昼八十度

河岸ニ在ルモ重圍ノ外ハブラコイ市トハ交通セズ。故ニ半以上河身オ彼ノ方ニ接近スレバ弾丸ノ見舞オ受ル由、河ニハサ[ア]ジサシハ居ラヌ由聞キシモ如何ニカ葛屋旅館ニ投宿ス。

黒河ノ上流

方面ニ出動。種々鳥オ探シタルモ多種ナラス。本日午前中ニ見[目]撃セシ者左ノ如シ。

赤腹[腹]燕ラシキ者 希ナリ

腰赤燕 普通

滿洲[州]ツバメ

セウドウ燕 腰及胸部ニ淡色ト見タリ

中ヒバリ? ヤ、多シ

シマアオジ 多シ

雨ツバメ 希 一羽オ見タリ

家スバメ 多シ

ス、メ 多シ

ハシボソカラス 少シ

コクマルカラス 山手ノ方ニ多シ

廿二日ノ分

マダラチウヒ ヤ、多シ

山階家へは其旨早速書面オ出ス。何分此ノ附近五里や七里位ては良キ場所無キ故アジサシノ類ハ一羽モ見ズ。水鳥が当ニナラヌトスレは当地ニ居リテモ見込無く且出入ニ警務の方の目がウルサキを慮リ瓊瑋へ越ス事ニセリ。同地ナラバ亦小興安山の採集モ見込無キオ報セルモ折角来リシ事ナル故山嶺近キ地形ノ変化ノ在る地点オ撰ミテ一採集オ試ミテ尚アジサシ類ガ是非必要の旨申越サル、

ナラバ齊々哈爾附近の大湿地ニ三四日滞在シテモ宜シキ様申送レリ。

二人オ外出許可。20、余ノ時計修繕セリ。

七月廿三日 朝七十度

本朝七時十分発ニテ横岡オ瓊瑋ニ遣シ家屋オ見附ケル可ク憲兵隊ニ行カシメタリ。此日丁度汽車衝突シテ横岡三時間遅延シテ十一時半帰宿ス。此日ヨリ一日早く小興安ト当駅瓊瑋間ニ匪賊出沒シ日本人三名死セリ。

七月廿四日

{正午八十八度午後二時九十度}

昨夜録に眠ラヌニモ不係四時ニ起床漸ク五時頃彼等モ起出タリ。五時半食事オ了シ六時ニ葛屋旅館ヲ立出。馬車ニ頭ニ荷物オ積ミ込ミ駅ニ至レバ既ニ満人等ハ乗車シ居タリ。横岡ハ切符ノ世話ヤラ先ニ預ケシ手荷物オ受取り瓊瑋駅は手荷物不取扱駅故ハむ無ク羽田オ相手ニ客車内ニ積込ミタリ。発車ニ先立数回職員より小言オ食漸ク頼み頼みニ瓊瑋迄到着セリ。手荷の運賃ハ勿論不要ナルモ小言モ云はれるニハ閉口セリ。此ノ次ニ出立の際の事オ思ヘヤラル。昨日約束セル村長家ノ一室は可なり広ケレトモ唯紙張りノ窓数個在ルノミ。梁士才と云フ人ナリ。駅ニ着と岡[同]時ニ駅長室ニ挨拶ニ行キ亦我日本ノ守備隊ニモ行き荷物オ運般後警務師團ニ是亦挨拶ニ行キタ同地ニハ日本人甚居リテ話ハ丁度良ク分明セリ。日本の追田へ、山階家とへ手紙オ送レリ。本日ハ左記の鳥類オ見タリ

月三十円の割

薪ハ一畝[束?] 六円の害[割]

塩ハ一斤 十銭

黒河省大黒河興隆街二十二号

葛屋旅館

東崗子屯

梁士才

瓊瑋地方の鳥 (自昭和十年七月廿四日)
至同年八月廿六日

24/VII コクマルカラス 多々

〃〇嘴細カラス (樺太)

〃〇アームルカサ、ギ

〃 スバメ ×

〃〇マンシウツバメ 多シ

〃 腰赤ツバメ

〃〇岩ツバメ

〃〇青サギ

〃 シマアオジ ×

〃〇黄セキレ

〃〇赤足チヨゲンボー

〃〇■[斑]チウヒ

25/VII西比利紅マシコ

〃〇嘴太ヨシキリ ×

小ヨシキリ ×

〇郭公

〇ヨシガモ

〇真鴨

〇小鴨

大バン

〇河セミ

〇磯シギ

〇タカブシギ ×

〃〇北満キジ

〃〇キジ鳩 多

〇ムクドリ (シベリヤムク)

中尺シギ 希

アマツバメ ×

26/VIIウヅラ ×

〃 八ツ頭 ×

〃 トビ

〇〃黄鳥

〇〃尾長 (満洲[州])

28/VII〇スエンホーガラ

27/VII〇針尾シギ

〇〃朝鮮チヨゲンボー

〇28/VIIシヨドウ燕

27/VII 鍋ケリ

〇29/VII嘴太小ガラ

〇〃小サメビタキ

〇〃北満河原ヒワ

〇30/VIIヒバリシギ

西比利ホ、ジロ

31/VII 五位

〇岩見セキレイ

〇マンシウワシ耳ツク

〇樺太シメ 4 7

〇カルガモ

〇3/VIIIシベリヤ大赤ゲラ

〇3/VIIIルリガラ

〇5/VIII柳蟲喰 少

〇〃姫ヨシキリ ヤ、多シ

〇7/VIII眉白黄ヒタキ

〇〃唐赤モズ

〇〃赤アームル五十柄

〇〃アリスエ

〇赤服[腹]

〇小蟲喰

大ムクドリ ×

〇8/VIII満洲[州]山ゲラ

□[鴛]鴛

〇シベリヤジュリン 八月九日報告×

〇9/VIII赤襟鳩

〇10/VIII北赤ゲラ

〃鍋鴻

〃山シギ

〇11/VIII田シギ

〃姫クエナ 希

〃〇夷ヒタキ

〇15/8尾黒シギ

16/8雨燕

哺乳類

〇針モグラ

〇北満大土栗兎

〇北満廿日兎

〇黒服[腹]谷地兎

縞リス ×

〇アームル啼兔

ドブ兎

北満山猫

〇灰服[腹]蝙蝠

〇灰服[腹]袋兎

〇西比利鼬

〇満洲[州]大モグラ

〇17/8ウツラシギ

〇〃キリアイ

〇〃小脊[背]白田ヒバリ

〃青足シギ 八月廿日報告

18/8~~サシシ~~喰 尾白トウネン

20/8 赤マシコ 希

〃白服[腹]木回

〃朝鮮小ジュリン?

〃草シギ

〇22/8●小イカル

○23/8爪長セキレイ

○25/8ミヤマカケス 8 2種

七月廿六日半☐[曇]天

東方一里ノ地迄行キ土栗兎ノ罨オ置キテ一時間半ニシテ二頭ヲ得タリ。余ハ足部ニ痛ミアリテ歩行自由ナラズ困難セリ。

七月廿七日

東方揚樹屯迄行キ同地ノ高台地ニ水湿地在リテ其処ケリ、タカブシギ、針尾シギ等居リタリ。余ハ内一羽オ得タリ。

七月廿八日

本日ハ昨日ノ場処ニ行ク途中朝鮮チヨゲンポーを河中ニ打落シ羽田オ泳ガシテ獲タリ。台地ニハ針尾シギハ唯三羽ヨリ居ラス。二羽ハ直ニ射獲セルモ一羽弾丸十一号ナリシ故半失トナリテ村落ノ方ニ行ケリ。往路設置セルトラップニテ三頭オ得タリ。

正午七十八度 後三時七十二度

七月卅一日

本日山階家へ小興安嶺ノ採集の困難と今日迄の目撃セル四十三四種ノ鳥ト家雀の東漸の^経路ニ附テ報告ス。此日弾持人の羽田ニ出会セズ。空シク十時半過キニ引帰レリ。五位サギオ見亦小粒弾丸ハ命中^悪シク四射共ニ失中セリ。思フニ自身装弾ス可キ者ナリ。

八月三日

東方揚樹屯村ニテルリガラ一羽オ得タリ。

八月四日正午七十八度

本日北方鉄道ニ沿テ進行ス。チヨゲンポー及赤足チヨゲンボ等多く見ヘタリ。

朝六十七度

八月五日 午後六時八十度

本一一昨日行キ揚樹屯ニ行キ柳林中ニテ一羽ノルリガラオ得タリ。往路毎時居ルヨシキリオ射チ家ニ帰りテ調べタルニ姫小ヨシキリナリシ。赤足チヨゲンポーハ一日頃ヨリ漸ク多ク現ハルハ様ニナレリ。其他常ニ見ル所ノアームル鵲や北満尾長ノ如キハ未だ羽毛悪シク標本トスルニ足ラズ。

八月九日

今日迄採集ノ鳥類ニ就キ報告ス。* 山階家へ午後黒河興隆街二十二号 * 葛屋旅館へ書面オ出ス。

駅迄持行カシム。

本日南方沼ノ在る所ニ行キシニ鴨多ク赤襟鳩モ三四羽居ルオ見タリ。

八月十日

西方ノ丘上ノ林中ニテ嘴太赤グラオ得タリ。是ハ純白ナラズシテ^腹部其他淡皮褐色オ帯ビテ翼長百四十五ミリ在リ嘴長ハ廿七ミリオ算スルモ小ナリ。

八月十二日

早朝来ノ雨故書類を書く。既ニ山階家より送金し来る可き筈なるニ小包等ノ領収の報ニも不接不安ナリ。故ニ更ニ書オ山階家へ送りテ送金オ請求セリ。

八月十四日朝七十三度ヒル[七十]五度

昨日来ノ雨尚未タ齊晴セズ。午後ニ至ルモ已まず。十三日午後羽田一人出獵セシム。入用ナラサル燕三羽オ射チ帰ル。本日は朝来休ム。

八月十五日

本日前六時出獵真鴨オ手初メニ打獲リ姫小ヨシキリ五羽オ打タルモ頭破損甚シク出来ル者二羽内一羽ハ羽毛無く標本トナラズ。西比利魴オ得亦尾黒シキオ得タリ。朝夕少シク寒冷気味となりシ故シギ類もソロソロ渡り来るナラン。

八月十七日 ヒル八十度

東方ノ湿地ニ行キシニ小脊^背白田ヒバリ ? キリアイ、ウヅラシキ、アメリカウヅラシキ等居リタリ。青足シキハ本日遠クヨリ一羽オ見タリ。最早や初秋ナル故諸鳥移動シ始メタルガ如シ。

八月十八日

十三日以来不通トナリ居る鉄道ハ未タ通セズ。明後日即チ廿日ニハ開通見込ノ由ナリ。余ハ東京ニ書を出シ置タルモ一向御返事無く閉口セリ。黒河方面ハ殊ニ不便甚シ。

八月十九日 朝六十四度正午七十八度

好天気三四米突の風良く晴タリ。シキ色々見タルモ此日如何なる訳ニか逸セリ。昨日●西比利樹椋ハ目下群集シテ粟畑ニ付キ居リ。高麗ウグエスハ先ニ多かりシモ目下希トナリ。皆南方ニ去リツ、在リ。

八月廿日 朝六十六度 昼七十九度

本日汽車黒河ヨリ始メテ来ルオ以て多分山階家ヨリ書類

来ル可キオ思へ余一人にて出獵シ羽田オ駅ニ遣シタルモ一通モ余ニ宛●タル書類無シ。如何ニシテ当方ヨリ先ニ差出シタル書類日本ニ行カザルヤオ疑シム。本日東方ニテ青サギ一羽オ打落シ亦真鴨二羽オ得タリ。食糧ノ菜物皆無トナリシ故丁度仕合良シ。朝鮮小ジユリン?と思はるゝ者一羽オ見亦ウ二羽オ見タリ。

八月廿一日

本日東方ニ趣[赴]キシモ変リタル鳥オ見ズ。午後四時頃守備隊ヨリ山階家ヨリノ書類オ兵二名シテ持参セリ。東京八月二日附ニテ廿一日届クトハ実ニ廿日間オ要セル者ナリ。既ニ為替金五百円オ大黒河葛屋方宛ニテ送附セシ趣キナリ

八月廿二日 朝六十四度ヒル八十二度

本日東方ニ趣[赴]ク。午後黒河*葛屋ニ向ケ書類等来リ居らざるヤオ問合せ切手封入セリ。同時ニ*山階家行キノ書オ出セリ。曰ク承德ヨリ先方危険ノ恐在る場合ハ何処そ良キ場所一ケ所ノ採集オ行フ由申送レリ。

八月廿四日

先日来山階家ヨリ送金ノ案内来リ居リシ故本日本小包オ造リ五個オ漸ク詰入レ午後六時半発車ノ黒河行キニ乗リタリ。七時半汽車来ル。黒河葛屋旅館ニ着セシハ午後十時頃ナリ。曜日ハ日曜ナリシオ知ラズ。飛ンテモ無キ散財ナリシ。

八月廿五日 日曜日

ナリシオ以テ局ニ行キタルモ門オ閉鎖シ在リ。食糧等ノ買物オナセリ。

八月廿六日

局ニ至リ東京ヨリノ為替金着シ居るヤを尋ねタル処既ニ十二日ニ到着セルモ葛屋旅館ノ帖場ニテ大連ヘ送る可ク依頼在リシ故十三日直ニ大連ヘ発送シタリト。直ニ引返シ館主、廣田繁一氏ニ談判セルニ何共申訳無しト申ノミニテ一向要領オ得ズ。故ニ先般能々八月九日書オ飛バシ十日確かニ届キ居る筈然ルニ二十日ニ至リ余ニ宛テタル為替到着ノ通知オ局ヨリナセルニ如何ナル考ヘカ大連方面ニ是オ振向ケルと云ふ筈ハ千萬不都合と云ふ可ク。其償[責]任ハ全々館主ニ在オ談シ局と相談ノ上為替ハ直ニ交換所ヨリ黒河ヘ返送オ受ケルト同時ニ廣田受取人ノ委任状オ書き廣田立替金五百円ノ領収書と同時ニ渡シ先方ヨリハ小包ノ実印ノ領り証オ受け入レタリ。

小包ハ午後二時ニ至リ税関ノ検査オ受ケ五ケノ領収証オ受取りタリ代金六円二十銭。夙テノ至[経]費オ算セバ実ニ一ケ十五円トナル。

八月廿七日

本日天気晴郎[朗]ナリ。風少シク在るも好秋日和ナリ。前七時二十分発ノ便(此ノ便ノミ)ニテ出立シ九時瓊瑋駅ニ着シ直ニ東崗子ニ帰り明日出立ノ仕度オナセリ。駅長ノ話ニ依レバ未タ貨物ノ受入レノ命ニ接セズトノ事ナリ。手荷物ハ不扱荷モ受入レヌトスレバ余等ハ自分ノ荷物オ運フ不能、困タ物ナリ。

八月廿八日

前七時瓊瑋署ニ挨拶ニ行キ梁士才家オ出立シ八時頃駅ニ着ス。駅長代理ノ世話ニテ手荷大抵[抵]車内ニ持込ミタリ。大形ノ荷物ハ辰清駅ニ行キテ切符オ買ヘ領ケル事ニシタリ。正午孫吾駅ニ着ス。軍隊ノミの町ナルモ南方ニハ満人町二条在リテニ三百戸位ハ在ルナラン。森林ハ小興安駅ヨリ北方カ最も茂リ居リ其ヨリ孫吾ノ間ニハ一寸途切レ居リ亦其ヨリ所々ニ白樺及黒ガンビ等ノ森オ望ムモ腰嶺ハ正ニ此ノ山脈ノ分水嶺ナリ。辰清ヨリ南方ニテ林ハ在るも連絡少ク先ツ採集場トシテハ小興安ヨリ北方カ最敵[適]場所タリ。地形モ亦然リ湿地在リ谷在リ断涯等も在リテ谷ハヤ、深キ処モ在リ。辰清以南ハ林少シ。午後九時十分北安着北安ホテルニ泊ス。

八月廿九日 卅日 身上旅館ニ宿泊ス

前七時廿分齊々哈爾行ニ乗シ午後十二時半着。一時半発ノ奉天行ニ便乗シ卅日前十時四十分着直ニ坂本商店ニ行キ弾薬を買ふ。五十三円九十銭ナリ。

ナベヅル北安ヨリ南方チ、ハルノ間ニ六羽一回ト二羽一回飛居ルオ見ル。

アジサシハ少ク唯チ、ハル南方ノ沼水ニ十数羽オ見シノミ。

大モズハチ、ハル南方ニ二羽一回一羽一回。

ミヤマカラスハ至ル処ニ多シサキ及鴨類ハチ、ハル南方ノ沼池ニ多ク見ラル。

山階侯爵家及自家書面オ出ス。

八月卅一日奉天発

前八時出発午後二時三十二分錦縣ヘ着。同所ノ駅ノ向ヘノ食堂ニテ昼食オ取ル。前十時頃横岡ノ馬鹿が鶏ノ焼肉ノ串差シオ買ヘ来ル可ク命ゼシニ丸焼キ鶏二羽オ老円ニテ買来ル。明朝八時発ガ丁度朝陽ノ一番ニテ十一時五十分平泉行ニなるを知らず。能々御苦勞千萬にも朝陽迄来リ十時半都ホテルト云ふニ宿りぬ。破れ家ノ酒家ノ跡トカ唯広イト云フノミニテ粗末千萬ナリ。

錦縣ヨリ朝陽迄ノ間ノ鳥ハ
腰赤燕
コクマル鳥少
モズ 少シ
青サキ ヤ、多
チヨゲンボー
ヒバリ 希

燕
深山カラス多シ
カサ、キ 少シ
雀 多シ
トビ ●少

奉天発車後三十分鍋鶴十羽程南方ニ飛行くを見タリ。
マタラ中ヒ少シ。

八月参拾壹日 九十度近シ暑シ
午後十時十七分朝陽着。駅ヨリ十数町ノ町ニ馬車オ駆リ
都ホテルト云フニ宿ル。

九月一日
朝陽午前中ノ列車無シ。故ニ十二時四十分発ニ乗ル終点
平泉ニ着セシハ午後八時十分。駅ヨリ十数町ノ南海ホテル
ト云フニ宿リ荷物六個オ同旅館ニ預ケ東京ヨリノ書類
等預リ置ク可ク依頼口。

九月二日
前十時約束ノ荷物自動車ニテ手荷一式オ積ミ込ミ金拾貳
円ニ割引セシメル。午後二時過ギ日光ホテルト云フニ宿
ル。

{平泉市街、~~日光ホテル~~南海ホテル}
{平泉、承德間希ニ山麓及人家近ク松数本オ見ル。}
平泉オ出レバ河畔ニ沿テ進ム兩岸ハ鋭角多キ山々相重連
シ谷間オ字曲シテ進ム。農耕地ハ甚タ良く出来テ唯急斜
面オ除キシ他ハ皆作物オ植ヘ在リ。人家ノ附近ハ柳樹小
[少]数乍ラ至ル処ニ見ラレシモ鳥類ハ至テ少シ。
腰赤燕 燕 小サメヒタキ
セキレ 赤足チヨゲンボー ヒバリ
モズ オウチウ タカ

承德市街ニ買物ニ行キタルニ皓天子及*唐赤モズラシキ
物ニ羽籠飼セルオ見ル。然シ脊[背]面ハ余リ赤カラズシ
テ眉■[斑]ヤ、白ケレトモ腹[腹]部ハ汚皮色オ呈シ居リ
タリ。見慣れぬ者ナリ。
平泉承德間ノ水辺ニ一羽居リシ*セキレハ脊部ノ灰色薄
ク頭部ハ白色部甚ダ多く白色勝チノ頬白白[セキレ]ニ似

タル者ナルガ或ハ印度白セキレニハ非るや。
汽車便無キ為メ承德ノ物価ハ非常ニ高価ナリ。

{承德市街}
{日光ホテル}
{興隆縣ト大閣鎮}

興隆縣ハ南方馬脊[背]三日行程ノ処ニ在リテ夏季ハ殊ニ
道路悪シク泥深クシテ荷物オ運ビ難ク冬季結氷ノ候ナレ
バ大荷物オ運ビ得ル由。此ノ方面ノ森林ハ主トシテ唐赤
松多ク千古ノ老樹繁茂摩天ノ觀在ル由ニテ興隆ノ西北方
半日行程ノ処ヨリ大樹オ見ル由ナリ。夏ノ末頃ヨリ彼ノ
熱河討伐以来ノ敗兵山間ニ入りテ匪賊ト變シ無數ニ山中
ニ潜ミ居リ時々小[少]人数ノ通交ト見ルヤ急チ襲撃シ来
ル由。

大閣鎮ノ方ハ木ハ細長キ白楊多キ由ニテ是ヨリ南方ノ興
隆近ク迄密林連リ居ル由ナリ。警備兵少キ為一步モ駐屯
地ヨ[リ]討伐ニ出ザル状態ナリ。甚ダ心元無キ状態故我
等三人ニテハ如何共出来難ク然モ一ヶ所ニ長ク滞在する
時ハ彼等ハ我財布ノ中ノ金高迄知り居る位ニテ然モ此ノ
附近ノ村落ガ皆匪賊ト共通シ居ル事故、週[周]圍ノ人ノ
進[勸]メル如ク赤峯ト承德トノ中間西寄リニ在る圍場附
近オ採集ス可ク決定シ九月三日前八時飛行郵便オ山階家
ニ出シ右ノ由報告ス。

{ 土木健 [建]築木材省 喜多繁樹 承德市枯柳樹街 }
{ 木材省 電二〇七 }
{承德ヨリ各地ノ交通}

古北口オ至[経]テ 北平ニ至ル自動車
二日一回位
承德、平泉間 貨物車モ多数在リテ
四時行程 二十三里
承德、多論間 四、五、日隔ニ一回
好天ナレバ二日行程ナリ
右ノ至[経]路ハ豊寧縣オ至[経]ル

承德、圍場間
二日隔ニ一回位、買切りナレバ老百円トノ事。

承德、興隆間 三十七里 馬ノミ通ズ

興隆 紅梅寺間 三十満里 五里

〔承德発興隆行〕

前ニ承德縣參事官神保一夫氏を訪問シ大低〔抵〕匪賊ハ大丈〔夫〕ラシシとの事ニテ愈々困場行キオ中止シテ霧靈山行を決行スル事としタリ。馬ハ六頭六千円との事故不当オ改め四十八円ニテ行く事ニシタリ。

九月四日前七時

承德オ発シ間道を通りテ山岳の溪間オ通シ日没近ク山麓の寒村ニ宿ル。南京虫攻メニハ匪賊ヨリ甚しかりし。

九月五日

非常の鋭角オ現せる山間を通りテ七時半過キ鷹手營ノ馬宿ニ泊ス。此日滑藝〔稽〕至極ニも遠方より日兵を匪賊と誤認シ横岡ハ高粱畑ニ飛込ミシハ氣ノ毒の様なアワテ様なり。斯くの如き者ハ大事をなす不能る人なり。

九月六日

午後一時半興隆着。新和旅館ト云フ支那様ニ宿る。心地よき宿なり。日本ノ宿なぞより暴ラズ。軍及參事官増田進氏オ縣公署ニ訪ヘ萬事便宜ノ取計ひを受ク。山階家及自家ヘ書を出す。

途中の鳥

四十雀 ス、メ 燕？ 腰赤ツバメ
トキハシケリ コクマルカラス ミヤマカラス
コウライハト シラコバト？ オウチウ
爪長セキレ 白セキレ ? モズ
サンジャク トビ。 チヨゲンボー
ヒタキ

町家ノ軒ニハ マヒワ モウスカケス 皓天子
モズ 等オ見タリ。

興隆ヨリ紅梅寺

九月七日前七時半来ル可キ馬夫来ラス。荷物オ造リ終リシ時ハ丁度九時。北東ニ道オ採リテ進ミ後北方ニ向ヘ十二時着セリ。山間ノ溪流ニ沿テ大玉石多ク日光ニ暑〔焼〕ケテ温度百度位モ在ラン。一望尖骨タル岩山ノミ続キテ希ニ松樹ノ停立セル在リ。紅梅寺ニ着シ四方オ見ルニ西方ノ極メテ尖角オナセル当リニハ希ニ松樹ノ小群オ見ルノミ。霧靈山ニシテ名ノ如ク雲霧起リテ時々降雨在リ。峯頂迄ハ約三里其ヨリ一里ニシテ萬里長城ニ至ルオ得溪流ハ清カナルモ河鳥ハ少シモ見ヘズ。河ガラス等ハ居ラサルガ如シ。昨日縣公署ニテ電話ニテ宿泊オ命セラレシ故役所ノ一室オ余ノ為ニ貸与サレタリ。茲ニ諸材料オ運ビ込ミ漸ニシテ後午三時標本製作ノ準備ナレリ。役所ハ

小川オ隔テ一軒立ノ者ニテ土家ナリ。暗クシテ閉口セリ。

九月八日

一行支度オ調ヘ霧靈山ニ登ル。我輩等ハ助手二名外ニ警察官単銃オ持チ人夫二人外軍隊ノ警護ノ者ト共ニ一行七名川ニ沿テ上流二里ノ地点ヨリ左ニ登山道路ハ皆嶮岨ナリ大石疊々数町ニ連ル所モ在リキ。森林ハ残木ノミニテ人ノ行キ得る処ハ皆伐材セリ。象ノ毛位ノ処ニテ熱河第一の森林なぞトハ以テノ外ナリ。往路河ガラス一羽オ得是ハ新しき記録上載ノ者。

白黒ヒタキ？ 河ヒタキ？ 一羽オ見ル。

キシトマハ連れ五六羽オ見テ一羽オ得タリ。熊ゲラハ思ヘ設ケヌ処亦大赤ケラオ見タリ。大テウセン五十ガラハ居る様ナリ。ミヤマ（蒙古）カケス。星カラス等オモ見タリ。

九月九日

昨日ノ通行動ス。本日ハ*尾長キジ一羽オ得*茶服〔腹〕赤ゲラ及*茶服〔腹〕センニウ等既鳥ノミ。

*大形小ガラハ翼長六十五ミリ尾長六十二ミリ頭部光沢無キ褐色ノ者ニテ新シキ者？*ミソサ、エ亦小形ノ者タリ。眉茶チナイモ居レリ。興隆縣參事官増田進氏ノ厚意ニ拠リ警察其他警手オ附セラル。

余ハ一人ニテ静カニ採集オ行ヘバ尚多数の珍種オ得可キオ思ヘタリ多人数ニテ話シ乍ラノ進行ハ確かニ鳥類オ逸セシム。日中八十度 夜七十五六度位ナリ。

熱河省興隆縣霧靈山ノ鳥

- ? 腰赤燕
ツバメ
コウライ鳩
○チヨゲンボー
朱鷺嘴ケリ低地ニノミ
トビ
○満洲〔州〕カサ、ギ
○ミヤマカラス熱河（×周辺）
8/9ネッカコガラ
〃~~ネッカコガラ~~
〃コウライキジ
灰頭ホ、ジロ
○~~ネッカコ~~マゲラ
◎熱河大赤ゲラ
◎ネツ河五十柄
○朝鮮四十柄

○ジヨビタキ

○黄眉蟲喰

エゾヒタキ

○サメヒタキ

○ペキン川カラス

岩見セキレ

○黄セキレ

◎満洲[州]川ヒタキ

○朝鮮大五十柄

○尾白ヒタキ

25

8/9テウセンウグエス

○クマダカ?

〃チゴハヤブサ

〃○黄ビタキ

9/IX茶服[腹]赤ゲラ

威境嘴太小柄

〃◎折居鷓 鷓

○眉茶シナイ

○尾長キジ(ミノ)

シナキジ

灰頭ホ、ジロ

◎熱河ミソサバエ

10/IXチヨゲンボー小州駒鳥折居鷓

○脊[背]黒小啄木

○小嘴紅サンシヨクヒ

○北京日柄

山柄

○小嘴ビンズイ

?南木走 唯一回山頂ニテ見ル

○ムチセツカ

河セミ ×

12/IXルリテウ

磯ヒヨドリ

○×朝鮮チヨゲンボー?

13/9シナモズ

8/IX黄眉蟲喰 75 48

自昭和十年九月七日

至今年九月卅日

12/IX ○姫磯ヒヨ

田ヒバリ

○~~尾白ヒタキ~~

13/9○黄嘴丸嘴

○シマノジコキ

○直レイ小啄木

○郭公

○ツツドリ?

○熱河星ガラス

○ビンズイ

満洲[州]山啄木

白襟サンジャク

14/9○黄胸●ヒタキ

○~~ペキンセガラ~~

〃○カラアカゲラ

〃○カラフトムチセツカ

○インドハクセキレイ

16/9ノビタキ

キジバト ×

○ツミ

○トラツグミ 68

17/9トクナガスバメ

19/9○山シギ

20/9○小ホ、アカ

44 50 94

20/9○台湾ハクセキレイ

〃○唐チヨケンボー

24/9○西比利眉白

◎熱河雀 尾異ル

○〃アトリ

○〃ルリヒタキ

25/9白服[腹]ホ、ジロ

○樺太蟲喰

〃マヒワ

〃ノスリ

〃ハヤブサ

○28/9イワヒバリ

○29/9黄眉ホ、ジロ 82

承德

○4/X~~ニセキ~~

○〃イスカ

○〃ペキンカワラヒワ 86

十 □ル

○13/9熱河深山カケス

12/9赤マシコ

12/9眉茶シナイ

25/9~~ニセキ~~

2/X 十月二日崖ツバメ 唯一羽オ見ル

× 不用
○採集セシ者

九月拾日

七名ノ一行清凛 ヨリ登山シ始メ■[峻]嶮ニシテ千メード[ト]ル程登ルニ約二時間オ費シ枯林ノ啄木鳥ノ毎時モ居ル処ニ至リ二手ニ別レテ余ハ林中ニ陣取り横岡助手ハ峯頂ニ向テ横ニ林オ分ケテ進メリ。本日ハ*木走ノ色彩ヤ、濃キ者一羽オ見射撃セントスル内青葉茂リタルケ処ニ入りテ見エズナレリ。其ノ木ニサンシヨクヒ(小嘴紅)ノ♀一羽止リタル故余ハ一射シタルモ破損大ナリシオ以テ予備トセリ。此ノ日茶服[腹]赤ゲラハ一羽モ見エス。小啄木(支那)二羽オ打落シテ一羽オ得タリ。横岡ハアルタイ小川コマドリオ得タリ。尾長キジオ見タリト。

九月拾壹日 雨半日ニテ帰ル

毎時モノ通り大勢ニテ登山口ニ至リシ処一天急チ霧ニ覆ハレ雷鳴在リ雨降り始メタリ。已ム無ク農家ニ入りテ雨オ晴ラス事一時間家ニ帰リシハ十一時頃ナリ。午後羽田オシテ鳥ノ胃袋オ手入れセシメタルモ中ニハ破損甚タシク番号ノ不明ノ者沢山出来セリ。是ハ四日間馬ニテ振湯[動?]サレシ為ニ糸ト糸と組ミ容易ニ離れ難し。且又札ノ落説[脱]セル者モ多数在リ。

九月十二日

昨日来ノ雨晴レタルモ風強ク余等頂上近ク昇リシ時ハ雪チラチラ見ヘタリ。本日トラップ五ヶオ置キ小嵐毘五ヶオ置ケリ。

*田ヒバリを山服[腹]ニテ二三羽オ見●岩畳々タル所ニテ*ルリテウオ見タリ。

九月十六日

本日大川ニ浴フ村路ノ南方面ヨリ登山ス。途中*河ヒタキ二羽オ得タリ。*ルリ鳥ニ横岡一射シタルモ得ズ。*トラツグミオ頂近クノ林中ニテ一羽オ見テ獲タリ。本日八日以来ノ支拂オナセリ。内九月十一日ノ雨ニテ途中ヨリ戻リシ分ハ半日トシ二人分金計金拾壹円九十銭支拂ヘタリ。

九月十七日

本日霧靈山ノ最高峯ノ直下ノ林中ニ行キ*黒リスオ見亦川ニテ*大ルリテウ三羽オ得*徳永スゞメオ得タリ。洋蠟盡キ困リ居リ。二円六十銭ニテ六十本オ買ヘタリ。山階家ヘ報告及日光ホテルヘ照会オ出ス。

九月廿三日

本日ハ霧靈峯ノ高頂ヨリ萬里長城オ見ル。壹里半位ノ巨

[距]離ナリ。頂峯近ク■[雑]木茂リテ昔シノマ、ノ林相オナセルモ針葉樹オ伐採セルオ以テ鳥類ノ通路ハヤ、下方面ニ在ルガ如シ。先般来大小各種ノ啄木鳥類オ見タルモ如何ナル訳ニヤ昨廿二モ本廿三日も一羽ノ音オモ聞カズ。既ニ南ニ去レル者?トモ思ハル。本日小トラップオヨリ上流ヘ移ス。

九月廿六日迄ノ鳥ノ去来ニ就キ

此頃ニ至リテ冷氣屯ニ加ハリ鳥ノ去来繁シ。

ジヨビタキ 十日程前ヨリ希ニナリ行ケリ。

ルリヒタキ 二三日前ヨリ多数トナル。

黄眉蟲喰 登山当時ト異ラス多シ。

樺太蟲喰 本日小形ノ者ト思ヘ打シニ此種ナリ多シ。

ヒンズイ 壹週間程前ヨリ甚多シ。

小ホ、赤 全上

白服[腹]ホ、ジロ 四五日前ヨリ甚タ多クナレリ。

ミソサマエ 此程多ク見ル様ナリ。然シ移動等無カル可シ。

小バシ紅サンシヨ 少キモ壹週間前迄ハ見ヘシモ今ハ見ズ。

一、夷ヒタキ、コサメヒタキ、サメヒタキ等ハ希ニテ中ニ小サメハ希ニ残レル者オ見ル。南去セルガ如シ。

啄木鳥類ノ内 熱河大赤ゲラオ除クノ外皆南去セル者ノ如ク。其後全ク見ズ努力ハセシモ。鶺鴒ハ漸ク此頃群居スル様ニナリ行ケリ。当分居ル者ト考ル。

日柄(北京) 甚タ希ナル種ニシテ此頃ハ余リ不見ズ。ルリテウ 川ニ極メテ少キ者ナリシガ余ノ為め六羽オ打タレシ故其後見ヘズ。

河ヒタキ 四羽オ得其後♀一羽オ見ルノミ。

キシトゞ ハ希ナル者故一日一回位草間ニチラト見ル。

ムヂセツカ類 此頃不見南下セルカ。

眉茶シナイ 此頃ニ至リ多クオ見ルモ間無く去ルナラン。

蒙古深山カケス ハ此地方ニハ少キ者ナルモ一日一回位ハ聞ユ。

灰頭ホ、ジロ 少クナリ行ケリ。

黄ハシ丸ハシ 少キモ未ダ移動セザルガ如シ。

尾白ヒタキ ハ目今全ク不見ズ。南下セル者ト思フ。

マヒワ ハ昨日当り十数羽群飛スルオ見初ム。

アトリ 一羽オ見初メタリ。

キジハト 高処ニハ全ク不見。

高ライバト 五六オ昨日見ルモ少クナレリ。

山シキ 五六日前一羽オ見其後一二オ見ル。

五十柄四十柄小ガラ等ハ年中移動セザルカ如シ。

鵠ハ目今群集シ居レルモ山岳地帯故少シ。

九月廿七日

早朝来大サワギオ演シ居ル故何事かと思ヘシニ匪賊七八百名紅梅寺村ノ南西方通過シ小白其方面ニ向ヘシ由報告在リ為メニ大警戒シテ今日ハ発砲オ禁ゼラレタリ。

丁度鳥モ少クナリ行キ本日ハ胃袋ノ処理オナセリ。八ケ丈ケ少クナレリ。

瓊瑋方面ノ者式百七十七ケトナル当地ノ者二百四十ケ合計五百十七ケトナル。

鳥類ニ於テハ当地以来式百十八ケ

哺乳類ハ 四十七ケ

合計 式百六十五ケ

九月廿八日

本日最早ヤ鳥モ少クナリ行キシ故下山セン者ト役場ニ交渉セシニ折悪シク討伐ノ為軍人多数明廿九日到着シ馬オ徴発セラル、故下山スルオ得ズトノ事故明後日行ク事とセリ。本日ハ承德日光ホテルヨリ書面到着シ東京山階家ヨリ書状到着の趣申越来レリ。黒河ノ蔦屋旅館より印鑑平泉ニ送り更ニ承德へ再送セル者到着セル由ナリ。

*岩ヒハリ及*唐赤ゲラオ得、*樺太蟲喰ハ此ノ頃最多数ナリ。

{馬六頭ニテ}

承德往回、六日間一日一頭平均一円故三十六円オ要シ興隆迄ハ半日なるも一日分オ給シ合計四十二円ニ約束セリ。

九月廿九日 六十九度

本朝満洲[州]国兵隊六百数十名討伐ニ来リシモ一里半程下方ニ宿営シテ南方ニ匪賊オ追ヘ去レリ。

余ハ三人連ニテ山ニ登ル。珍ラシキ鳥ニ出会セス。*樺太蟲喰尤モ多数ナリ。*眉茶シナイハ大部分渡リ去リテ希ニ見ルノミ、小嘴紅サンシヨ喰ノ♂一羽オ打タルモ木ノ葉上ニ止マリテ落ち来ラズ。

九月卅日

前八時の約~~なる~~ナルニモ不係十時迄~~ても~~テモ馬全部揃ワズ。已ム無ク先ニ出立シ興隆ニ着セシハ後午一時。直ニ新和旅館ニ入り食後増田参事官オ訪ヘタルニ承德へ出張ノ由ニテ他の警察ノ人ニ挨拶の礼オ依頼シ戻ル。

十月一日

前七時半新和旅館オ出立シ午後一鷹手営ニ着シ食後出立セルニ支那人青クナリテ走り来リ告ルニ匪賊式百名程一

里半程先ニ出沒セル由余ハ其様ノ無方[法]の出来事ニ不関出立シ途中馬オ進め峠ノ下の馬宿ニ着セルハ八時ナリキ。直ニ食後寝ニ就ク。

拾月二日

七時過ぎ出立シ川ガラスニ羽オ得シ時丁度増田参事官承德ヨリ帰り来ルニ会不意ニ曲りの谷間ニ銃声ニ発オ聞キ驚カレタルナル可シ。斯クテ余等進行オ続け此夜七時半ニ宿ル。此間一向鳥類オ見ズ。先ニ登山ノ時オウチウオ相当目シ故歸路捕獲セシ物と思ヘ居リシニ惜シキ事オセリ。思フハ是等熱河特有ノ鳥類ノ大部分ハ移動オナシ南方ニ去ル特殊ノ者ニ非ル限り夏ニ採集す可キナリ。

興隆ノ近くテ時嘴ケリー一羽オ見横岡行キタルモ得ズ。接近出来ズ羽田ハ十二番オ負ヘ居リ乍ラ馬ヨリ落[降]リラ[ヨ]ウトモセズ。空シク頭上オ一飛過セシム。駱駝ノ大多数運荷シ居レリ。

{赤足チヨゲンボー多シ承德南方原野ニ}

十月三日

前十一時承德日光ホテルニ入ル。山階家ヨリノ書状四通当局ヨリノ為替金壹千円ノ証書並ニ平泉ヨリ廻[回]送ノ印鑑オ受取ル。即日午後金員領収セリ。

承德市内ニテ籠鳥トシテ飼ヘ居レル鳥左ノ通り見タリ。

皓天子 尤モ多シ

野ゴマ 少シ

イカル ニ羽ノミ

ヒバリ 多シ

黄嘴丸ハシ 一羽

マヒワ 多シ

アトリ 少

イスカ 少

北京河原ヒワ ヤ、多

四十柄 少

平泉南海ホテルニ電話シテ自動車オ立抛ラシム可ク命シ午後三時迄ニ来ル筈ナリ。

承德ノ骨董品店ニ立抛リ書画オ見シモ余リニ良キ氣ニ入ル品ハ見当ラズ。唯山水画及書ノ韓顔と云フ一風変リシ書在リシモ二幅ニテ十五円と云フオ八円ニ直[値]附ケタルモ負ケズ。店中白眉の絹本三尺、尺八位の中古色ノ仙人の枝(骨)オ空高く投ゲタル凶在リ氣ニ入ル直[値]オ問ヘバ十八枚続キニテ参百円なりと。時計ノ硝子オ入レ替ヘタリ。

{好天気}

承德ノ下流ノ電線ニハチヨゲンボ一多数止マリ居レリ。ケリ（鍋）
思フニ目今渡リ盛季ト思ハル。

航空郵便 山階家並ニ自家へ
絵端書及風土写真 泰司、辰廣へ
興隆縣ノ地図 山階家へ送ル

十月四日

昨日約束セル自動車平泉ヨリ来ル可キ筈故他ノ車オ交渉セズ。待居リシモ午後六時過ニ至リテ他の会社ニ交渉セルモ無ク軍ノ空車オ頼ミテ金參拾五円ニテ七時一寸前出發ス。十時半平泉ニ入ル。南海旅館ニ投ス。

十月五日

鳥類標本荷造ニ多忙ノ為本日中ニ間ニ合ズ。山階家石沢氏自家等ニ書オ出セリ。

十月六日

日曜日故小包ハ税関ニテ受附ケヌト思ヘ食糧や其他入用品オ買ニ出シニ局開キ居リシ故交渉セシニ税関検査サヘ了レバ当方ハ午後三時迄受附ルトノ事。大忙シニテ送状オ書キ税関ニ走ル。山海関、熱河等ノ絵端書オ二組ツ、追田、東一、辰廣等ニ発送ス。

十月六日 六溝泊り

本日前七時半馬二頭引ノ馬車ニテ平泉出發ス。支那人ノ言ニ抛北ニ途オ取ル可キオ西ニ取りテ進ミ遂ニハ承德ノ半遅ナル六溝迄来リシハ午後六時ナリ。馬宿ニ入り玉子オ買入トセシニ無シト。致し方無ク羊肉一斤二分オ三十錢ニテ買タリ。平泉宿ノ主人ノ話トハ全く変リ一日テハ到低[底]行キ就クオ得ズ。三日間オ要スル由在リトテ今更ラ帰ラズ已ムナク前進オ続ケシナリ。途方モ無キ事ナリ。*唐赤ケラー羽*北京河原ヒワオ得タリ。

途中見シ鳥類左ノ如シ

コクマルカラス ヤ、多

熱河カサ、キ

唐赤ケラ

セッカ?

燕

スマメ

深山カラス

チヨケンボ

北京河原ヒワ

小ホ、アカ

十月~~六~~八日

七日（五円） 八（壹円） 九（二円） 十日（壹円）
昨夜来峠オ越ユルニ多数ノ人夫オ要シ漸ク目刺[指]ス光頭山麓ノ五家ニ夜九時頃着セシニ城間[門]鎖シテ入レズ。困却ノ果新村ニ行キタルニ折リ良ク警察出張所長ノ居ル馬宿ニ入り雨露ニも酒[晒]サレズ安眠セリ。南京蟲ハ相当猛烈ナリシモ一向苦ニもセズ眠リタリ。暗クシテ一向見ヘサリシ。

十月九日

早朝馬夫氏ハ蹄[蹄]鉄オ打ニ出掛ケ余等ハ荷造リ等等多忙出發セルハ八時半過キ。三時間位ニシテ光頭山ニ着。二里（満）ニシテ山麓と云うニ着ク可カリシモ一本ノ木無ク驚キタリ。南海ホテル主人ノ無誠意ト馬夫ノ馬鹿ニハ唾然タルモ斯ク在ル可キニ非ズ。早速口方ノ人々ニ問ヘシニ此ノ光頭山ノ北面ニ大樹林在リト。然リト雖も行ク能ハズ。已ム無ク数十里オ宇[迂]回シテ行ク事トシテ一先昨夜ノ宿五家ニ[戻]ル。此ノ方面ニハ樹木在ラバ渡来鳥ノ多クオ見ル可キ所モ在ルモ木全ク無ク不毛ノ山ノミ故長年[経]驗モ何ノ役ニ立ズ。

{五家出發}

十月十日

前九時宿柳樹堂を[経]テ七家ニ宿ル。未タ林又ハ森オ見ズ、光頭山ノ東面ニ大森林無シト聞ク。

十月拾壹日 二道梁子

七家オ出發シテ漸ク山道ノ石原ノミオ通ル涯ニ面シタリ河オ数十度渡渡シタリ峠オ越テ二十数丁ニシテ宿オ見附宿ル。午後八時荷物オ片附ケタリ。

十月十四日 霜降

本日東方川ニ沿タル右方ノ沢ニ行キ松樹ノ少シク茂リタル一町歩程ノ林中ニテ*アトリノ群及*シメオ十羽程見タリ。風強クシテ小鳥打ハ面白カラズ。帰路*高鹿[麗]雉子オ♂オ打タリ。此ノ附近ニハ非常ニ多クノ雉子棲ミ居レリ。

十月十五日

本日ハ小トラップニ兎三頭オ得*熱河モグラ一頭オ得タリ。*サンジャク数羽オ遠ク見ル。雉子オ得タリ。*滿洲[州]ダルマ柄長ノ群オ見テ八羽オ得タリ。漸ク小鳥ノ渡来期ニ入レルガ如シ。

二道梁子附近ノ鳥 自昭和十年十月十日
至十月卅日

- 蒙古深山カラス
コクマルカラス
○熱河鶻
○サンジャク
○西比利ホジロ
○小頬赤
○白髪ホジロ
チヨゲンボー
ハヤブサ
ノスリ
トビ
○唐赤ゲラ
○満洲[州]山ゲラ
○高麗雉子
○唐知目トリ
○四十柄
五十柄（熱河）
田ヒバリ
ウヅラ
ツミ
12/X ○黄嘴丸嘴
〃○黄眉ホ、ジロ
〃○朝鮮尾長
〃キジハト

〃○ルリヒタキ
〃○山ヒバリ
13/ ○深山ホジロ
〃○熱河コガラ
〃○灰頭ホジロ
14/X ○シメ
〃○マヒワ
〃○朝鮮ミソサバエ
〃アトリ
〃○蒙古深山カケス
15/X ○熱河~~満洲[州]~~達磨柄長
〃山シギ
犬ワシ
16/X ○嘴太イカル
〃○朝鮮ホ、ジロ
〃○ツグミ
ジヨビタキ
17/X シベリヤ大モズ
〃○コウライシマエナガ

〃○~~唐~~朝鮮エナガ（カラエナガ）

- 〃大マシコ
○オウ朝鮮五十柄
○喉赤ツグミ
犬ワシ

17/X ○八丈ツグミ

○~~ツグミ~~

20/X 熱大赤ゲラ

〃○嘴細カラス

21/X ○大タカ

23/X ○紅マシコ 初メテ渡来

24/X ○小紅ヒワ

26/X ○山ウヅラ

○虎フック

○菊戴

計 五拾八種

十月十六日 五十四度

風強ク雪チラチラ降り始メ寒サ強シ。此頃各種ノ小鳥渡
リ最中ナルガ如シ。

満洲[州]達磨柄長 大群ニテ昨日漸ク到着多シ。

黄嘴丸ハシ 散慢乍ラ多キオ見ル。

アトリ● 大群ニテ渡来セリ。

ツグミ ヤ、多シ。

白髪ホジロ 先般来一增多シ。

コホ、赤 多シ。

黄眉ホ、ジロ 少シ。

嘴太イカル 三羽オ見テ一羽オ獲ル。

唐知目トリ 先般渡り過キタルガ如シ。

啄木鳥類ハ 既ニ渡南シ終リタルガ如シ。

真ヒワ 少シク渡来シ始ム。

灰頭及朝鮮ホジロ ハ目今割合ニ少シ。

十月廿三日

漸ク寒冷加はり毎朝薄氷ト霜降りツ、在リ。*小啄木ハ
木ノ在ル割ニ一寸モ不見。*山シヤクハ少クナリ行き数
日ニ一回と云フ希ニナリ行ケリ。尤モ多キハホ、ジロ類
ト*山ヒバリナリ。

山ヒバリ無数。灰頭ホジロヤ、多シ。

白頭ホジロ無数。朝鮮ホジロヤ、多シ。

八丈ツグミ多シ。アトリ無数。

高麗尾長ハ時々廻[回]遊シ来る者で在る故必ずと云ふ訳
ニハ行かす。其が為待居る事も出来ず。未だ満数ニ達セ
ず。

十月廿五日 ヒル六十三度

昨夜来降雨在リテ一日曇天小雨ナリ。余ハ*西比利丁元?*唐チヨゲン?分明セザル丁元一羽オ得タリ。大形ナル故♀と思ハル。

十月廿八日

家ノ後ノ方ニテ山ウツラの一群オ見テ五羽オ打落シタルモ走リテ漸ク三羽オ得タリ。

鶉類ハ既ニ去リ亦昨日迄多数ニ居リタル樺太シメハ本日ニ至リ一羽モ見ヘズ。卅一日朝ニ当地オ出発スル予定ナリ。

十月卅日

最後ノ熱河ノ獵ニ出ス。昨日雉子多数居リタル処ニ行キタルモ唯一羽♂後方ヨリ飛出シタルニ丁度横岡ノ横ナリシモ各人一発ヅ、見舞ヘシモ半失ニなりテ下方ニ舞降り何レヘか走り込みテ遂ニ獲ズ。横岡君ト別レテ中の大沢ニ入り度々飛出シタル者ニ折悪シク余ノ処ヨリ遠ク射頃ナラズ。折シモ帰路丁度十間位ノ処ヨリ林間オ縫テ飛ブ一羽ニ直ニ一射シテ獲タリ。是ハ佳ナリノ長尾ノ者ニテ三十節位ニテ未だ生シツ、在リキ。

十月卅一日

慮[驢]馬六頭の内三頭ニ荷物オ積ミテ出発ス。平泉迄金三十円ノ約ナリ。一頭一日二円の割ナリ。是ハ帰路二日半オ要スル故ナリ。途中四道溝オ過ギ大営子ニテ中食ス。頭道営子ニ宿泊ス。

十一月一日

風在ルモ好天ナリキ。下方ニ向テ山間ノ谷川ニ浴テ降下ス。午後六時黄頭梁子即チニ道溝ニ宿泊ス。家屋ノ大ナル事今迄ニ例無シ。夜半ヨリ降雨在リ。

十一月二日雨

本朝小雨オ突テ出発セシニ雨止マス。終日降り為ニ雨衣オ通して下服[腹]引迄漏水シ平泉ノ宿ニ着セシ頃ハ寒さニフルヘ口モ満足ニ利ケヌ位ナリシ。

山階家ヨリ二通ノ通信在リ。十月十八日附ノ者は小包ガ代金引替ニなり居リシ事ニテ合計壱百六拾六円五十銭ト云額ニテ昨日局ヨリ引替代金到着ノ由ノ通知書モ来リ居リテ実ニ驚キタリ。是ハ当方ニモ積[責]任在るモーハ局ノ間違ひなりト同時ニ我家の方ニ送りシ者ハ果シテ如何ニ山階家ヘ御詫ノ書オ出シ自宅ヘモ其旨報告ス。果シテ如何ナル処置オ取りシヤ。

十一月三日時々小雨

日の丸旗町ノ所々ニ揚レリ。明治節ナリ海野、追田、佐々木氏ニ書面オ出セリ。

十一月五日

平泉出発、本夜錦門ニ着セルモ夜行山海関行無ク錦門ニ一泊ス。横岡氏モ一泊セリ。当夜送別会オ開ク。

十一月六日

綏中ニ着日ノ丸旅館ニ宿ル。館主モ獵好ナリ。領事館及軍ニ挨拶ニ行ク。

{十一月七月初出獵館主ノ案内}

綏中附近ノ鳥 自 昭和十年十一月七日
至 十二月十日

7/XI○カサ、キ

〃ミヤマカラス

〃〇満洲[州]山ゲラ

〃〇唐赤ゲラ

〃◎サメイロタバヒバリ

〃〇中ヒバリ

〃〇大マシコ

〃◎草シギ

〃◎シラコバト

〃山ヒバリ

〃〇赤ツクシガモ

〃ツル

○ノガン

〃マガモ

〃〇ホシハジロ

〃〇ホ、ジロガモ

〃ノスリタカ

〃チヨゲンボー

〃〇青サギ

〃ウヅラ

〃~~メアザテ~~

〃コクマルカラス

○8/XIワシ耳ヅク

鍋ケリ

○カイツムリ

9/XI○ツクシカモ

マナ~~ヅル~~

○ユリカモメ

○小嘴紅ヒワ

○爪長ホ、ジロ

ハヤブサ?

大バン

ウミアイサ

○●シメ

10/XI○高麗シマエナガ

○小嘴小柄

○ベニバト甚希二羽オ見シノミ

○唐四十柄

○田ヒバリ

アトリ

11/XI大ヒハリ

〃○ミコアイサ

○朝鮮小ジユリン、

シベリヤジユリン

カシラダカ

13/XIミソサマエ（朝）

15/XI♀シベリヤホジロ[?]

ツバメ

16/XI○日柄

〃○尾長ベニマシコ

17/XI○大唐モズ

〃○小金眼フクロ

20/XI尾白ワシ

22/XI○小耳ヅク

25/XI○時嘴ケリ

〃○冠ヒバリ

24/XI○灰色宙飛

27/XI○イカル~~目~~千鳥7/XII 白腹^マ[腹]ホジロ

十一月十二日

東北方ノ河ノ北岸ニ柳樹在リ是ニ行ク。

シラコバト 小柄 満洲^マ[州]山ケラ

キシバト 四十柄 唐赤ケラ

アトリ○ カラフトシメ○ 八丈ツグミ○

カサ、キ 田ヒバリ○ スマメ

大マシコ 中ヒバリ

等ハ少シク見ラル。樹林トシテハ柳ノミナルモ大木ハ無ク細木ノミナルモ此辺第一ナリ。日ノ丸旅館主本日内地ニ向ケ出立ス。東一へ書面オ出ス。

満洲^マ[州]山ケラの嘴長六十ミリニ余ル者オ得タリ。

十一月十三日昨夜来雨降雪ト代ル

本日領事館へ免六頭局へ壱頭税関ノ山田憲吉氏へ弍頭贈

ル。寒シ。神戸出の横岡ノ手紙着ス。

十一月十五日

北風吹テ寒気強ク西北方河ノ左岸ニ行キシテ一向珍ラシキ鳥ニ出会セズ。小山の根オ廻リテ帰レリ。*小嘴紅ヒワノ群ニ会ヘ四羽オ得亦*西比利ホジロ?ト思ハル、♀オ得*朝鮮小ジユリン♂ハ頭部其他ハ♀ニ近キモ唯喉下黒大^マ[斑]在ルニ依リ区別シ得ラレタリ。

寒気ノ為メ一向小鳥類ニ出会セス。八丈ツグハ少々見ヘ居レリ。白小鳩ハ二三羽オ村落中の大樹の梢ニ見ル。

十一月十七日

前七時四十四分ニテ砂後所ニ行海岸ニ至ル。所々ニ野^マ[原]の待屋ト野^マ[原]の案山子オ見ル。海ハ一面ニ氷張りテ水鳥氷上止マル者も在リ。白鴨赤鴨ハ見ラレタリ。ユリカモメも相当ニ是を見ル。シキの何種ならん遠く飛翔スルオ見ル。小金眼フクロ、及大唐モズオ得タリ。

十一月拾八日

本日東京山階家ニ向け最早や採集の見込無キ故十二月上旬限り当地を引揚て宜シキやと問合ス。本日も一向変リシ鳥を見ス。

十一月十九日

十一月七日の書面到着セシと見ヘ金五百円也送附シ来ル。

本日東方川ニ沿て下リシニナベ鶴及鴨小^マ[少]々見ヘタリ。

十一月廿日

本日河ニ沿テ下流ニ行キシモ昨日の如ク鶴や^マ[雁]ハ余リ飛バズ。午後一時を過る頃鶴来リシモ三四百ヤード位ニテニ射セシも不当。然も赤筑紫鴨ハ近ク居リシ者を射撃セズシテ遠キ鶴オ撃テ逸飛サル。昨日の如ク寒カラズ。降雪の頃一群数万ニ余ル小鳥来る由聞ケトモ其の何ナルかを不知。満人ノ事故不明ナリ。山階家ヨリ金五百円也送附シ来ル。

十一月廿壹日

本日南方萬法山ニ趣^マ[赴]キシモ一向良キ鳥ニ出会セズ。羽田オ残シテ帰宅セルハ後午三時半ナリキ。狐多数此ノ海岸ニ居ル由ナルモ果シテトラップニ掛るや否や^マ[疑]問ナリ。

十一月二十二日

余一人苦力オ連レ出獵セシモ烈風強ク砂塵オ飛バシテ眼モ開ケラレズ。逸スル兔多シ。此様ノ日ハ兔ハ甚ダ警戒

強ク遠方ヨリ走逸ス。小耳ヅク一羽オ得タリ。羽田狐捕レサル者ト見ヘ未だ帰ラズ。今朝山階家へ領収証オ出ス。

十一月廿四日

本日留守宅ヨリ書面到来ス。平泉局へ^マ即[昨?]夜^マ廻[回]送方ノ書面オ出セリ(廿五日発^マ綏ノ答)。

十一月廿五日

河向ヘノ岸オ降ル往路*目大千鳥オ見其ヨリ*時嘴ケリ二羽オ見テ其ノ一羽オ得タリ。帰路高处オ飛居ル*赤ツクシ鴨の♂オ射落シ来ル内亦時嘴ケリ二羽岸ニ立ルオ見テ行キシモ一羽ハ遠[飛]ビ去リ*一羽ハ下流ニ向テ余ヨリ三十間位ノ処ノ対岸オ通ル者ニ一射翼オ折リテ落ち来ル。

十一月廿六日(荷物全部着ノ)

山階家及自宅ヨリ電報来ル。山階家ハ冬の鳥を調査スル為新京ハルピン間ニ進出ス可き様申来リシも書面で寧ろ春季にて吉林省の黄泥河間を四五六の三ヶ月位の間採集スル方得策ナレ[リ]シト申送る。然シテ、家雀の儀ニ就テハ確實ニハ分明せぬ由答ヘル。

十一月廿七日

本日山階家へ航空便ニテ返事差出セリ。ケリ三羽居リタルモ二羽オ得タリ。

十一月廿七日

本日平泉南海ホテルへ書面オ出シ局の方の取り調べ方を依頼セリ。

十一月廿八日

風無く温暖ナリキ。時嘴ケリ一羽オ見タルモ接近シ得ず。

十一月廿九日

自家及横岡へ書面オ出セリ。兎一頭ガ今日終日ノ獲物ナリ。

十一月卅日

本日降雪一向ニ鳥オ見ズ。

十二月一日

本日降雪二寸程、小包ノ箱造リニ終日オ費ス。平泉局よりハ未だ一通の書面も来ラズ。

十二月二日

雪中行進セルモシラコバトノミニテ唯一羽ノ*紅鳩オ見テ是オ獲タリ。足湿テ寒^マ冷[冷]云ん方無し。

十二月三日

本日小包オ荷造ス。山階家行ハ八個胃袋共平泉局へ打電ス。尚書面オモ出ス。

平泉南海旅館小山政一へ打電ト切手照会状オ出ス。山階家へ帰路大連^マ至[経]由ノ由報告シ寺岡君へ手持品ノ報告オナス。

右ハ四日早朝投函ス。

十二月四日 室内ハ七十八度位外屋下二度

残雪覆野二寸位ナルモ風強カラズ。正午迄林中オ歩キタルモ必要ノ鳥オ見ズ。唯鶺鴒及白子鳩等オ見ルノミ。

*午後二時半頃平泉南海旅館*小山政一ヨリ電報来ル。先ニ*一〇五円と云てやつた書面ハ誤リ七七円ナリ。当地ヘ送レト云フ電文オ打ツ。

十二月五日

荷物完成セルオ以テ六日愈小包オ山海関ヨリ送る事トセリ。

平泉ヨリ電報在リ。実印又ハ委任状オ送る可キ由申来ル。平泉局ハ不親切極まる奴等ノミニテ数回照会セルニモ不係、代金(小包の)廻[回]送出来ヌ者ナラ出来ぬ由申越スガ当然ナルニ一向ニ返事オセズ。思フニ彼等ハ余ノ小包代金金オ横領スル工作中ナル可ク思ハレシニ隣家南海より再度交渉在リシ故已む無く金七十七円到着シ居る旨南海旅館主小山政一氏ニ答ヘタル由ナリ。不都合極マル奴輩ノミ滿洲[州]ニ充滿セリ。

十二月六日

朝一番七時六分発ニ羽田オ山海関ニ遣シ小包十個持参セシム。

小包料十円四十銭及七円六十一銭汽車賃及其他ノ^マ至[経]費約式十円オ越ユ。

十二月八日

一向ニ必要の鳥オ見ス。帰来荷造リニ専心ス。

十二月九日

午後三時過キ平泉南海旅館小山より綏中ハ電為替ハ利カヌ由申来リ已む無く電報ニテ北海道の自宅の方へ送附方を依頼す。本日午後より羽田憾[感]冒ニテ発熱甚シク当夜録に不眠ニテストーフオ燃シ水蒸気揚ゲテヤリタリ。

十二月十日

本朝出発の筈ナリシニ羽田病氣故ニ出立出来ス閉口セリ。

獵友金奉詰氏ヨリ送ラレシ画ハ八仙慶寿播桃会ノ図ニテ

南極星ノ生オ祝シテ廿四聖人集マレル図ノ由三月三日
(□)

十二月十二日

羽田兼て感冒ニテ出立遅延セルモ快癒セルオ以テ九時四
十分緩中発急行ニテ出立。廣君其他家主の若者等送り
来ル奉天着ハ五時頃ナリシ。
身上旅館へ投宿ス。

謝辞

本研究を進めるにあたり、(財)野鳥の会の大畑孝二氏、
苫小牧市立中央図書館の館員の皆様には文献の提供及び
資料の閲覧等で多大なご協力をいただきました。記して
感謝申し上げます。

参考文献

- 揚妻芳美 2005. 折居彪二郎資料「千島採集日誌（1928
年）」の活字化. 苫小牧市博物館館報 2 : 47-74.
- 齊藤郁子・嵩原建二 2003. 折居彪二郎資料「琉球及び
大隈列島採集日誌（1921）」. 沖縄大学地域研究所地
域研究叢書 1, 160pp.
- 2004. 折居彪二郎資料「琉球採集日誌（1936）」.
沖縄大学地域研究所地域研究叢書 3, 46pp.
- 説田健一・齊藤郁子・鷲田善幸 2006. 折居彪二郎資料
「台湾採集日誌（1932）」. 岐阜県博物館研究報告
27 : 1-49.
- ・時田賢一 2001. 柳原要二鳥類コレクショ
ン標本目録. 岐阜県博物館研究報告 22 : 22-68.
- 苫小牧市中央図書館 1998. 折居彪二郎採集資料目録,
苫小牧市, 241pp.
- 1999. 折居彪二郎採集資料目録 続. 苫小牧
市, 152pp.
- Yamashima, Y, 1939a. On the Stomach Contents of the
Manchurian Birds. *Tori* 10 : 229-322.
- 1939b. Note on the specimens of Manchurian
birds chiefly made by Mr.Hyojiro Orii in 1935. *Tori*
10 : 446-544.

付録 Birds Stomach		36		山ヒバリ	1	
Samagulusu Manchuria		37		北ホジロ	1	
	<u>20.th IV 1935</u>				3	
No 1.	蒙古沙漠ヒタキ	♂	2、	No 38	西比利白セキレ	1
No 2,	蒙古小ヒバリ		1	" 39	頬白セキレ	1
No 3,	爪長ホジロ		1	" 40	蒙古浜ヒバリ	4
No 4,	満洲 ^{マウ} [州]小ヒバリ		2	" 41	蒙古スズメ	2
No 5	満洲 ^{マウ} [州]小ヒバリ		3	" 42	爪長ホシロ	1
No 6	蒙古浜ヒバリ		2	" 43	蒙古沙漠鶺鴒	2
No 7	満洲 ^{マウ} [州]小ヒバリ		2	" 44	羽白ヒバリ	2
No 8	全上		2	" 45	紅嘴鳥	1、
No 9	鍋ケリ		1	" , 46	浜ヒバリ	1
No 10	蒙古羽白ヒバリ		2	" 47	蒙古沙漠ヒタキ	4
No 11	満洲 ^{マウ} [州]小ヒバリ		1	48,	羽白ヒバリ	五
						24
	<u>21 IV 1936^{マウ}[5]</u>		19	<u>24. IV</u>		
No.12	頬白セキレ		1、	49	八頭	1
No 13	ルリ鶺鴒		1、	50,	鍋ケリ	1
No 14	蒙古沙漠鶺鴒		1、	51	雀家 ^{マウ} [家雀]	2
" 15	白千鳥		1、	52	頭高	1
" 16	中ヒバリ		2	53	満洲 ^{マウ} [州]小ヒバリ	2
" 17	蒙古浜ヒバリ		4、	54	アトリ	1
No 18	満洲 ^{マウ} [州]小ヒバリ		2	55	爪長ホジロ	4
No 19	中ヒバリ		23	56	小チドリ	1
No 20、	爪長ホジロ		1			13
No 22、	浜ヒバリ		2		<u>25th April</u>	
			17	No 578	西比利白セキレ	4
	<u>22 IV "</u>			No 57,	山ウヅラ	1、
No 24,	大黃服 ^{マウ} [腹]四十柄		1	No 59,	蒙古入苗雀	1
No 25,	浜ヒバリ		1	" 60,	砂漠鶺鴒	1
26	中ヒバリ		1	" 661	満洲 ^{マウ} [州]コヒバリ	1
27	満洲 ^{マウ} [州]小ヒバリ		2	" 662	浜ヒバリ	1
23,	灰色ツグミ		1	" 663	紅嘴ガラス	2
28	白セキレ		1	64	小千鳥	1
29	山岩ヒバリ		1	65	西比利白セキレ	1、
30	八頭		1	66	蒙古スズメ	26/4 3、
31、	蒙古羽白ヒバリ		1		<u>27th IV</u>	1617
32	爪長爪砂漠ヒタキ		1	No 67,	頬白セキレ	2
33,	爪長ホジロ		1	No 68	頭高	1
34,	中ヒバリ		1	" 69	蒙古雀	3、
			13	" 70	蒙古中小ヒバリ	4、
	<u>23. April 1935,</u>			" 71,	八ツ頭	1、
No 35	蒙古入苗雀		1、	" 72	蒙古浜ヒバリ	1

73,	蒙古雀	5、		April To—179。	16
74,	中ヒバリ	1、		<u>1 st may 1935</u>	
75,	蒙古入苗雀	2、	No 110,	西比利浜ヒバリ	4
76,	ルリヒタキ	2、	" 111,	頬白セキレ	3、
77,	紅嘴カラス	3、	" 112,	皓天子、	5
		25	" 113	滿洲[州]小ヒバリ	1
			" 114	西比[利]爪長ホジロ	1
No 78,	頭高	1	" 115	頭高	2
" 79,	ルリ鶺鴒	2	" 116	紅嘴鳥	1、
" 80,	爪長ホジロ	1			17
" 81,	中ヒバリ	1		<u>2 nd, may,</u>	
" 82,	● 沙漠ヒタキ	2	No 117,	蒙古浜ヒバリ	1
" 83,	西比利浜ヒバリ	2	No 118,	滿洲[州]小ヒバリ	32
" 84	白千鳥	1、	" 119,	蒙古小ヒバリ	1
" 85	浜ヒバリ	2、	120,	小千鳥	2、
" 86,	蒙古入苗雀	3、	121,	鍋ケリ	1、
87,	頬白セキレ	1			8
88,	中ヒバリ	32、		<u>3ird, may 1935</u>	
89,	蒙古小ヒバリ	1	No 122	大千鳥	2
90,	滿洲[州]小ヒバリ	1、	123,	黄頭爪長セキレ	1
	以下布札	21	124	蒙[古]沙漠ヒタキ	1
			125	嘴太雲雀	1
	<u>29. th April 1935</u>				
No 91,	滿洲[州]小ヒバリ	2、	126,	中ヒバリ	2
" 92,	白チドリ	1、	127,	紅嘴ガラス	2、
" 93,	頬白セキレ	1	128,	爪長ホジロ	1
" 94,	爪長ホジロ	2、	129	皓天子	2、
" 95,	嘴太ヒバリ	2、	130,	滿洲[州]小ヒバリ	2
" 96,	蒙古入苗雀	1、			15
" 97,	頭高	1		<u>4,th may 1935</u>	
" 98,	蒙古浜ヒバリ	1	No 132	爪長ホジロ	1
" 99,	中ヒバリ	1、	No 131 133	ホジロセキレ	3
		12	No 133 134	台湾白セキレ	2
	<u>30 th April</u>		133,	西比利白セキレ	1
No 100,	嘴黒鶺鴒	1、	134 136	アネハツル、	1
101,	ヒバリ	1、	137	黄頭爪長セキレ	1
102,	皓天子	1			9
103,	蒙古小ヒバリ	2、	No 138, ♂	ウヅラ	1、
104,	浜ヒバリ	5		<u>5 th may</u>	
105	白千鳥	2、	No 139,	西爪長ホジロ	1
106	滿洲[州]小ヒバリ	1	140	小嘴ビンズエ	1
107	中ヒバリ	1	141	台湾白セキレ	2
108	蒙古小ヒバリ	1	142	黄頭セキレ	1
109	ヒバリ	1	143	中ヒバリ	1

144	滿洲 ^{マニウ} [州]小ヒバリ	1	No 178, 11	土栗 ^{ツル} ノ腹子	7、
145	アトリ	1		<u>10, V 1935</u>	
		97	No 179	西比利 ^{シベリ} ジュリン	3
	<u>6 th may</u>		180,	小頬 ^{コホ} 赤	2
No 146	黄頭 ^{ワウ} セキレ	2	181,	西比利 ^{シベリ} ジュリン	4、
147	嘴 ^{クビ} 太ヒワ	1	182,	尾白 ^{ビロ} トウネン	3、
148	小嘴 ^{コクビ} ビンズエ	1	183	全上	2、
149	八ツ頭	1	184	黄頭 ^{ワウ} セキレ	1、
150	ルリ鶺鴒	1	185	常 ^{トコ} ヒタキ	1、
151	西比利 ^{シベリ} 白セキレ	3	186	眉 ^{マユ} 白 ^{シロ} タヒバリ	1、
152	アトリ	1	187	蒙古 ^{モンゴ} 入 ^イ 苗 ^{ビョウ} 雀	1、
153	西比利 ^{シベリ} 爪 ^{ツメ} 長 ^{ナガ} セキレ	1	188	北 ^{キタ} 爪 ^{ツメ} 長 ^{ナガ} セキレ	1、
		11	189	八頭	1
	<u>7 th may</u>		190,	小嘴 ^{コクビ} 千鳥	2
No 154,	蒙古 ^{モンゴ} 姫 ^{ヒメ} 兔	1	191,	小 ^コ 青 ^{アヲ} 足 ^{アシ} シギ	4
155,	ムクドリ	1	192	尾白 ^{ビロ} トウネン	3
156	頬 ^ホ 白 ^{シロ} セキレ	1	193	尾白 ^{ビロ} トウネン	3
No 157,	八ツ頭	1	194	西比利 ^{シベリ} ジュリン	2
158	●小嘴 ^{コクビ} ビンズイ	2		<u>11 sts may</u>	34
159	黄頭 ^{ワウ} 爪 ^{ツメ} 長 ^{ナガ} セキレ	2	No 195	小 ^コ 青 ^{アヲ} 足 ^{アシ} シギ	43
160	アトリ	1	196	タカ ^{タカ} ブシキ	2
	<u>8 th may</u>	9	197	喉 ^{ノド} 赤 ^{アカ} ツグミ	2
No 161,	蒙古 ^{モンゴ} 入 ^イ 苗 ^{ビョウ} 雀	3、	198,	八丈 ^{ヤチ} ツグミ	1
// 162,	蒙古 ^{モンゴ} 雀	4	No 198,	ヒバリ	2、
163,	小嘴 ^{コクビ} ビンズイ	2	199,	アトリ	1
164	♂小 ^コ 青 ^{アヲ} 足 ^{アシ} シギ	1	200	西比利 ^{シベリ} 爪 ^{ツメ} 長 ^{ナガ} ホジロ	2
165	八頭	1	201	嘴 ^{クビ} 太 ^{タイ} ヒワ	1
166	小嘴 ^{コクビ} 千鳥	1、	202	滿洲 ^{マニウ} [州]小ヒバリ	3、
	<u>9 th may</u>	12	203	トラ ^{トラ} ツグミ	1
No 167,	赤 ^{アカ} 喉 ^{ノド} ツグミ	2	204	田 ^タ ヒバリ	4
168	八丈 ^{ヤチ} ツグミ	1、	205	腰 ^{コシ} 尾 ^ビ 白 ^{シロ} ヒタキ	1
169	喉 ^{ノド} 黒 ^{クロ} ツグミ	1、	206	小嘴 ^{コクビ} ビンズイ	2
170,	小 ^コ 青 ^{アヲ} 足 ^{アシ} シギ	2、	207	黄 ^{ワウ} セキレ	1
171,	小嘴 ^{コクビ} ビンズイ	1			27
172	黄頭 ^{ワウ} セキレ	2		<u>M.T.Kingan N, Manchuria</u>	
173	西比利 ^{シベリ} 爪 ^{ツメ} 長 ^{ナガ} ホジロ	1	No 208	北 ^{キタ} 滿 ^{マン} 河 ^カ 原 ^{ゲン} ヒワ	2、
174,	蒙古 ^{モンゴ} 入 ^イ 苗 ^{ビョウ} 雀	1	209	シラ ^{シラ} ガ ^ガ ホジロ	2
175,	ルリ鶺鴒	1	210	カラ ^{カラ} ア ^ア オシ	1
176,	皓 ^{コウ} 天子	1	211	赤 ^{アカ} マシコ	1
177	蒙古 ^{モンゴ} 沙 ^{シャ} 漠 ^{バク} 鶺鴒	1、	212		
		14、	213	シラ ^{シラ} ガ ^ガ ホジロ	2
	姫 ^{ヒメ} 兔 ^ウ ニハ ^{ニハ} 2頭 ^ニ ノ ^ノ 者 ^{モノ} 在 ^ア リ		214	ビンズエ	1
			215	シラ ^{シラ} ガ ^ガ ホジロ	1

216	朝鮮縞青地	1	253	眉白 センニウ 大セツカ	1
		11	254	アカマシコ	1
	<u>7 VI. 1935</u>		255	眉茶シナイ	1
No 217,	白服 ^マ [腹]モズ	1	256	唐赤モズ	1
218	嘴太ヨシキリ	4	257	ヨタカ	1
219	赤マシコ	3	258	野ヒタキ	1
220	ムチセツカ	1	259	樺太ムチセツカ	1
221	ルリヒタキ	1	260	熊ゲラ	1
222	小蟲喰	1			10
223,	尾長紅マシコ	1	261	<u>12. jun. 1935</u>	
224	小サメビタキ	2	No 261	コサメビタキ	2
225	ノヒタキ	1	262	ビンズイ	1
226	樺太ムチセツカ	1	263	西比利アリスエ	1
227	唐青地	1	264	柳蟲喰	1
228	赤マシコ	3			5
229	赤マシコ	2、		<u>13. jun. 1935.</u>	
230	嘴太ヨシキリ	1、	No 265	クロライテウ	1
	<u>8 th jun.</u>		266	ミヤマホジロ	2
No 231	夷ヒタキ	1	267	ビンズイ	1
232	アムール五十柄及嘴太五十柄	2	268	シベリヤシヤウドウ燕	3
233	小アカゲラ	1	269	西比利大赤ゲラ	1
234	マキノセンニウ	1	270	シベリヤシヤウドウ燕	3
235	北満カワラヒワ	1			11
236	唐赤モス	3, 2		<u>15 jun 1935</u>	
237	小嘴ハシブトガラ	1、	No 271	樺太無地セツカ	2
238	シラガホジロ	2	272	北満河原ヒワ	1
No 239	野ヒタキ	2、	273	樺太蟲喰	1
240,	姫磯ヒヨ	2	274	シマセンニウ	4
241	赤マシコ	2	275	野ヒタキ	2
242	小ルリ	1	276	ムチセツカ	1
	<u>9 th Jun.</u>	19	277	白髪ホジロ	3
No 243	コハシハシブトガラ	2	278	大アリスエ	1
// 244	シマノジロ	1			15
// 245	ハシナガ五十柄	1		<u>16th Jun.</u>	
// 246	シラガホジロ	2	No 279	ウヅラ(赤喉)	1
// 247	唐赤モズ	1	280	夷センニウ	1
// 248	北満カワラヒワ	2	281	シマセンニウ	1
// 249	西比利大赤ケラ	1	282	シベリヤセンニウ	1
// 250	熊ゲラ	1	283	赤マシコ	1
		11	284	ビンズエ	1
	<u>10, jun</u>		285	無地セツカ	1
No 251	小赤ゲラ	1	2856	小ヨシキリ?	1
252	小ハシ嘴太ガラ	1			8

	<u>17. Jun</u>		321	夷センニウ	2
No 287	夷センニウ	1	322	赤モズ	1
288	満洲 ^{マウ} [州]三指ゲラ	3	323	嘴長五十柄	1
289	樺太無地セツカ	2	324	アムール五十柄	2
290	白ガホジロ	2	325	柳蟲喰	2
291	小 ^マ シハシブトガラ	1	326	小ヨシキリ	2
292	熊ケラ(満洲 ^{マウ} [州])	1	327	三指ゲラ	16 1
	<u>18. Jun</u>	10	328	無地セツカ	1
No 293	ハシブト赤ゲラ	1		<u>24. Jun</u>	
294	小アカゲラ	1	No 329	西比利大赤ゲラ	1
295	中ヒバリ	1	330	夷センニウ	1
296	ハシブトヨシキリ	2	331	ビンズイ	1
297	黄頭爪長セキレ	1	332	小赤ゲラ	1
298	シベリヤセンニウ	1		<u>25 Jun 1935.</u>	
		7	No 333	小赤ケラ	1
No 300	コヨシキリ	1	334	柳蟲喰	2
301	唐赤モズ	1	335	コヨシキリ	12
	<u>19. Jun</u>		336	樺太無地セツカ	1
No 299	西比利センニウ	2	6		11
302	唐赤モズ	1		<u>26 Jun</u>	
303	夷センニウ	2	No 337	小赤ゲラ	1
304	郭公	1	338	アムール五十柄	2
305	柳蟲喰	1	339	シマエナガ	1
306	唐青地	1		<u>27th Jun 1935</u>	4
	<u>20 Jun</u>	10	No 3400	眉茶シナイ	1
No 307	シマセンニウ	3	3401	三指ゲラ	1
308	シマセンニウ	3	3402	小赤ゲラ	1
309	コヨシキリ	2	3403	樺太ムチセツカ	×
310	ムチセツカ	2	3404	小嘴嘴太柄	3
		10	3405	夷センニウ	2
	<u>21. Jun. 1935</u>		3406	嘴太ヨシキリ	1
No 311	三指ゲラ	2	3407	深山ホジロ	2
312	嘴太赤ゲラ	2	3408	シマノジロ	2
313	西比利アリスエ	1		<u>30 Jun 1935</u>	13
314	バイカル小柄	2	No 343	眉白田ヒバリ	1
315	柳蟲喰	2	// 349	アムール五十柄	3
No 316	小赤ゲラ	1	350	嘴太赤ゲラ	2
		10	351	小赤ゲラ	1
	<u>22 Jun</u>				7
No 317	嘴太赤ゲラ	1		<u>1 st July 1935</u>	
318	♀ アムール夷ライテウ	1	No 352	西比利腰赤燕	1
319	嘴太赤ケラ	2	353	西比利岩燕	3
320	三指ゲラ	2	354	シマアオジ	3

		7			23
No 355	黄頭爪長セキレ	2			426
356	頬白白セキレ	1			<u>179</u>
	<u>2 VII. 1935</u>				605
No 357	尾白ヒタキ	1	是迄ノ分才興安嶺昂々溪ニテ失フ		
358	小嘴ハシブトガラ	1	<u>Aihon North Manchuria</u>		
359	嘴長五十柄	1	<u>25 th July 1935</u>		
360	小赤ゲラ	1	No 388	郭ム[公]	1
	<u>3 ird VII 1935</u>		389	西比利紅マシコ	34
No 361	縞青地	2	390	満洲[州]燕	2
362	赤モズ	1	391	嘴太ヨシキリ	12
363	夷センノウ	1	392	シマアオジ	1
364	三指ゲラ	2	393	西比利紅マシコ	2
		13	394	嘴太ヨシキリ	1
	<u>6 th Jun[july] 1935</u>		395	嘴細カラス	1
No 367	西比利岩燕	1			12
				<u>26 july</u>	
	<u>9. july 1935</u>		No 396	西比利ムク鳥	2
No 369	野ゴマ	1	397	全 全	2
370	白髪ホジロ	1	398	大マシコ	1
371	小ハシハシブトガラ	1	399	高麗ウグエス	1
	<u>10 july</u>		400	小千鳥	1
No 372	ノゴマ	1	401	inv. 尾長	17
373	コヨシキリ	1			8
374	西比利大赤ゲラ	1		<u>27 th july</u>	
		7	No 402	満洲[州]燕	2
No 375	満洲[州]三指ゲラ	1	403	シマアオジ	1
376	白服[腹]ホジロ	1	404	アームル鵲	1
377	小レリ ♀	1	405	針尾シギ	1
378	コハシハシブトガラ	1	No 406	西比利マシコ	2
	<u>11 July</u>		407	高麗ウグエス	2
No 379	赤マシコ	1	408	尾長	1
380	腰赤燕	1	409	タカブシギ	2
381	赤服[腹]燕	3	410	西比利ムクドリ	1
382	西岩燕	1			13
	<u>12 july</u>			<u>28 july</u>	
No 383	腰赤燕	3	No 411	高麗ウグエス	1
384	腰赤燕	3	412	針尾シギ	2
385	シマ赤モズ	1	413	アームルカサハギ	2
386	赤マシコ	2	414	尾長	3
				<u>29 VII</u>	8
	<u>16 VII 1935</u>		No 415	黄鳥	2
No 387	北満河原ヒワ	4	416	満洲[州]尾長	1

417	サメビタキ	1	453	赤足チヨゲンボー	2
418	北満河原ヒワ	1	454	アームル鶺	2
419	嘴太コガラ	1		<u>6 th Aug.</u>	
	<u>30 VII july</u>	6	No 455	ルリガラ	2
No 420	スエンホーガラ	3	456	尾長四十雀	2
421	ヒバリシギ	1	457	尾長四十柄	1
422	針尾シギ	1	458	コサメヒタキ	1
423	唐青地	1	459	姫コヨシキリ	2
424	灰頭ホジロ	1	460	嘴太ヨシキリ	1
No 425	コクマルカラス	1	461	姫小ヨシキリ	3
		8	No 462	アームル鶺	1
	<u>31 th july</u>	52	463	北満 キ シ ^マ 満洲 ^マ [州]尾長	1
No 426	北ホ ^マ ジロ	3			14
427	北ホ ^マ ジロ	3		<u>7 th August</u>	TO 111
428	岩見セキレ	2	No 464	アームル五十柄	1
429	アームルカサハギ	2	465	眉白黄ヒタキ	2
430	西比利大赤ゲラ	1	466	尾長四十柄	1
		62	467	嘴太コガラ	1
	<u>2 VIII 1935</u>		468	ルリガラ	2
No 431	西比利マシコ	1	469	高麗ウグエス	1
432	中ヒバリ	1	470	アリスエ	1
433	北ホジロ	3	471	岩見セキレ	1
434	シマアオジ	1	472	モズ	1
435	尾長四十柄	1			11
436	北ホジロ幼鳥	1			TO 122
437	スウエンホーガラ	3		<u>8 Aug. 1935</u>	
438	スエンホー	3	No 473	唐赤服 ^マ [腹]	1
	<u>3 August 35</u>	14	474	高麗ウグエス	1
No 440	満洲 ^マ [州]燕	2	475	満洲 ^マ [州]尾長	1
441	河セミ	1	476	青ゲラ	1
442	西比利マシコ	1	477	河セミ	1
443	ルリガラ	1	478	モズ	2
No 444	嘴太ガラ	1	479	黄セキレ	1
445	西比利マシコ	2	480	小蟲喰	1
446	樺太シメ	1	481	小サメヒタキ	1
447	シマアオジ	1	No 482	満洲 ^マ [州]燕	1
	<u>4. August</u>	10	483	縞青地	1
No 448	北ホ ^マ ジロ	2	484	西比利ジュリン	2
	<u>5 th Aug 1935</u>				14
No 449	ルリガラ	1		<u>9. Aug</u>	136
450	姫ヨシキリ	2	No 485	シベリヤジュリン	3
451	柳蟲喰	1	486	姫コヨシキリ	1
452	西比利紅マシコ	1			4

		TO 140	517	唐赤モズ?	1
	<u>10 Aug 1935</u>		518	姫小ヨシキリ	2
No 487	アームル鵲	2	No 519	シマアオジ	1
488	満洲 ^マ [州]尾長	2	520	夷ヒタキ	1
489	高麗ウグエス	1	521	サメヒタキ	1
490	姫小ヨシキリ	1	522,3	嘴太小ガラ	3
491	スエンホーガラ	1	523,2	嘴太赤ゲラ	1
492	眉白ヒタキ♀	1	524	シマノジコ	2
493	高麗ウグエス	3	525	姫小ヨシキリ	1
494	嘴太赤ゲラ	1			14
495	シマノジコ	1		<u>16 August 1935</u>	TO 191
496	郭公	1	No 526	シマノジコ	1
497	スエンホーガラ	3	527	夷ヒタキ	1
498	シマアオジ	1	528	小蟲喰	1
		17	529	北赤ゲラ	1
		TO 157	530	コサメヒタキ	1
	<u>11 August</u>		531	ヒバリシギ	TO 196 2
No 499	嘴太赤ゲラ	2	532	針尾シギ	1
500	嘴太赤ゲラ	1	533	田シギ	1
No 501	針尾シギ	1			TO 200
502	田シギ	1		<u>17 August</u>	
503	北満河原ヒワ	1	No 534	赤モズ	1
504	朝鮮河原ヒワ?	1	535	コサメヒタキ	3, 4, 21
505	赤足長元防	1	536	夷ヒタキ	2
506	夷ヒタキ	1	小蟲 537	小蟲喰	1
507	西比利岩燕	1	538	ヨタカ	1
		10	5●39	シマノジコ	1
508	黄鳥	1 TO 168	540	小脊 ^マ [背]白田ヒバリ	1
	<u>12 Aug 1935</u>		541	キリアイ	1
No 509	西比利紅マシコ	1	542	満洲 ^マ [州]燕	1
510	シマアオジ	1			12
511	高麗ウグエス	2		<u>18 VIII 1935</u>	
512	満洲 ^マ [州]燕	1	No 543	シヤウドウ燕	1
513	ヒバリシギ	1	544	夷ヒタキ	1
		6	545	サメヒタキ	1
		TO 174	546	小サメヒタキ	1
	<u>13 Aug</u>		547	嘴太ガラ	1
No 514	コサメヒタキ	1	548	郭公	1
515	西比利岩燕	2	549	アームルカサハギ	1
		3	550	西比利ムクドリ	1
		177	551	尾白トウネン	1
	<u>15 Aug.</u>		552	田シギ	1
No 516	尾黒シギ	1			10

		TO	222	585	小形ジュリン(西比利?)	1
	<u>19 VIII</u>					17
No 553	高ライ鶯		2			269
554	満洲[州]燕		1		<u>23</u>	
555	アームル夷ライ鳥		1	No 586	爪長セキレ	1
556	嘴長四十雀		4	587	大嘴シギ	1
No 557	嘴太小柄		1	588	アームル五十カラ	1
558	北ホハジロ		1	589	夷ヒタキ	1
559	満洲[州]尾長		1	590	満洲[州]燕	2
			11	591	腰赤燕	2
		TO	233	592	全 上	1
	<u>20 VIII 1935</u>			593	満洲[州]尾長	1
No 560	赤マシコ		1	594	尾白トウネン	2
561	尾白トウネン		1			12
562	シヤウドウ燕		3			T 281
		TO	238		<u>24 Aug 1935</u>	
563				No 595	満洲[州]尾長	1
	<u>21</u>			596	爪長セキレ	1
No 563	尾白トウネン		1	597	北満河原ヒワ	1
564	夷ヒタキ		1			T 284
565	嘴太小柄		1		<u>26 th Aug</u>	
566	アトリ		1	No 598	深山カケス	1
567	アームル五十柄		2		285ノ内8ヶ破損ス	T 285
568	ヨタカ		2		TO 277	
569	西比利大赤ゲラ		2		霧霊山	
570	白服本回腰赤ノジコ		1	Mulei M.T. S.Manchuria		
571	腰赤ノジコ白服[腹]木回		1		<u>8. IX. 1935</u>	
572	黄セキレ		1	No 599	テウセンハシブトガラ	1
573	唐青地		1	600	尾白ヒタキ	1
			14	601	ジヨヒタキ	2
		T-.	252	602	ネツカ五十柄	3
	<u>22 th August</u>			603	全 上	3
No 574	アトリ		1	604	ネッカ熊ゲラ	1
575	嘴太小柄		32	605	モウコカケス	1
576	白服[腹]木回		1	606	サメヒタキ	1
577	シメ		1	607	四十柄	2
578	郭公		1	No 608	河ガラス	1
579	北アームル鵲		2	609	灰頭ホジロ	1
580	満洲[州]尾長		2			7
581	姫小ヨシキリ		2		<u>9 th September</u>	
582	夷ヒタキ		1	No 610	熱河大赤ゲラ	2
584	アリスエ		1	611	茶服[腹]赤ゲラ	1
583	赤マシコ		1	612	熱河五十柄	1

613	ジヨヒタキ	1	648	河カラス	1
614	小ガラ	1	649	ジヨヒタキ	3
615	テウセンハシブトガラ	1	650	全 上	1
616	河ガラス	1	651	眉茶シナイ	1
617	キシトバ	1	652	灰頭ホジロ	2
618	サメヒタキ	1	653	ビンズイ	1
619	眉茶シナイ	1	654	灰頭ホジロ	12
620	尾長キシ	1	655	四十柄	1
621	黄眉蟲喰	1	656	小嘴紅サンシヨクヒ	2
622	熱河ミンサバエ	1	657	尾白ヒタキ	1
623	茶服 ^マ [腹]潜入鳥	1	658	支那小ゲラ	1
		15	659	直レイ小ゲラ	1
	<u>10 IX 1935</u>		660	熱河大赤ケラ	1
No 624	支那小ゲラ	1	661	唐赤モス	1
625	灰頭ホジロ	1	662	ツハドリ幼	1
626	小ハシ紅サンシヨクエ	1	663	バジコ?腰赤	1
No 627	熱河大赤ケラ	2	664		T22
628	テウセンハシブトガラ	4			74
629	小嘴ビンズイ	1		<u>14 IX 1935</u>	
630	アルタイ小川コマドリ	2	No 664	熱河大赤ケラ	1
631	ペキンヒガラ	1	665	茶服 ^マ [腹]赤ケラ	1
632	キシトバ	2	666	熱河五十柄	1
633	黄眉蟲喰	4	667	姫磯ヒヨ	1
	<u>12 IX 1935</u>	19	668	?無地セツカ	2
		41	669	黄ヒタキ	1
No 634	シヨヒタキ	1	670	星ガラス	1
634	眉茶シナイ	1	671	蒙古深山カケス	1
635	黄セキレイ	1	672	眉茶シナイ	1
636	四十柄	1	673	キシトバ	1
637	朝鮮嘴太小柄	1	674	ミンサバエ	1
638	姫磯ヒヨ	1	675	灰頭ホジロ	2
639	大マシコ	1	676	支那小ゲラ	1
640	黄眉蟲喰	1	677	唐赤ケラ	1
641	尾白ヒタキ	1	678	黄嘴丸ハシ	1
642	熱河ミンサバエ	1	679	印度白セキレ	1
643	ジヨヒタキ	1	680	黄眉蟲喰	1
		TO11			TO19
		52		<u>15 IX 1935</u>	93
	<u>13 IX 1935</u>		No 681	小ハシ紅サンシヨクヒ	2
No 645	霧霊山土俵 液漬ナリ		682	小ハシ紅サンシヨクヒ	2
644	熱河五十カラ	2	683	熊ケラ	1
646	熱河ホシガラス	1	684	眉茶シナイ	1
647	黄嘴丸ハシ	1	No 685	熱河大赤ケラ	2

686	小ハシビンズイ	1	721	灰頭ホハジロ	1	TO 145
687	黄眉蟲喰	1				
688	黄ヒタキ	1		<u>19 IX 1935</u>		
689	熱河ミンソバエ	2				
690	灰頭ホハジロ	1	No 722	熱河大赤ゲラ		2
691	小ハシベニサンシヨクヒ	2	723	大ルリテウ		1
6992	四十柄	1	No 724	熱河ミンソバエ		2
6993	熱河五十柄	1	725	全 上		1
6994	北京ヒガラ	1	726	小柄		1
		19	727	四十柄		2
	<u>16 IX 1935</u>		728	ビンズイ		1
No 995	熱河川ヒタキ	12	729	無地セツカ		1
996	四十柄	1	730	四十柄 黄セキレ		1
997	星ガラス	1				12
998	眉茶シナイ	2				TO 157
699	トラツグミ	1				
700	灰頭ホハジロ	1		<u>20 Sept.</u>		
701	黄眉蟲喰	2	No 731	白セキレ		1
702	熱河川ガラス	1	732	熱河大赤ゲラ		1
703	川ヒタキ	1	733	白セキレ		2
		TO 11	734	小頬赤		3
		0,123	735	星ガラス		1
704	熱河五十柄	2	736	山シギ		1
	<u>17 IX 1935</u>	all 125	737	徳永スバメ		1
No 705	黄セキレ	1	738	小柄		2
706	河ヒタキ	1	739	熱河五十柄		1
707	大ルリテウ	2	740	鵲		2
708	熊ゲラ	2	741	鵲		2
709	大ルリテウ	1				17
710	ルリヒタキ	1				
		8	742	四十柄	2	TO 176
711	徳永スバメ	134, TO134	743	スバメ	1	177
				<u>21 IX</u>		
	<u>18 IX 1935</u>		No 744	スバメ		1
No 712	熱河川ガラス	1	745	北京日柄		2
713	小ガラ	1	746	熱河大赤ゲラ		2
714	朝鮮嘴太ガラ	1	747	白服 ^{マフ} [腹]ホジロ		1
715	熱河川ミンソバエ	1	748	小柄		1
716	白服 ^{マフ} [腹]ホジロ	1	749	小ハシビンズイ		1
717	ムチセツカ	1	750	大マシコ		1
718	茶服 ^{マフ} [腹]無地セツカ	23	751	北京日柄		2
		8				11
719	ツミ	1	TO 143			TO 188
720	四十柄			<u>22 IX</u>		

No 752	星ガラス	1	784	小ホゝアカ	1
753	蒙古カケス	1	785	ルリヒタキ	2
754	キシトバ	2			8
755	白服 ^マ [腹]ホジロ	1	786	々 全	2
756	河ヒタキ	1		26 IX 1935	TO 229
757	朝鮮ハシブトガラ	32	No 786	黄眉蟲喰	1
758	小カラ	2	787	樺太蟲喰	1
759	大マシコ	1	788	白服 ^マ [腹]ホゝジロ	2
760	熱河大赤ケラ	3	789	全 上	2
761	北京ヒガラ	1	790	熱河雀	2
762	眉茶シナイ	1	791	熱河ミンサバエ	1
		17	792	鶺鴒	1
		TO 205	793	蒙古深山カケス	1
	<u>23 X [IX] 1935</u>				11
No 763	山シギ	1			TO 240
764	星ガラス	1		28 IX 1935	
	熱河大赤ケラ	4	No 794	樺太蟲喰シヨヒタキ	123
765	白服 ^マ [腹]ホゝジロ	2	795	岩ヒバリ	1
766	白服 ^マ [腹]ホゝジロ	2	796	熱河ミンサバエ	2
		7	No 797	唐赤ケラ	1
		202	798	シヨビタキ	1
767	ルリテウ	1	799	熱[河]スバメ	3
768	白服 ^マ [腹]ホゝジロ	2	800	樺太蟲喰	2
		TO 205			11
	<u>24 IX 1935</u>				TO 251
No 769	熱河ミンサバエ	2		29 IX 1935	
770	樺太無地セツカ	1	No 801	黄眉ホゝジロ	1
771	黄嘴丸ハシ	2	802	灰頭白服ホゝジロ	2
772	四十柄	2	803	灰頭白服ホゝジロ	1
773	白服 ^マ [腹]ホゝジロ	1	804	樺太無地セツカ	1
774	小柄	1	805	キシトド	1
775	シマノジロ	1	806	熱河ミンサバエ	2
775 779	熱河大赤ケラ	2	807	白服 ^マ [腹]ホジロ	TO 258
776	西比利眉白	1			260
777	黄服 ^マ [腹]センニウ	2		Shinriian, S. Manchuria	
778	北京日柄	1		2 X 1935	
779		16	No 808	熱河川ガラス	2
		TO 221	809	〃々川ヒタキ	1
	<u>25 IX</u>			承德 Shanto S, Johoa Manchuria	
No 780	山シギ	1		●4 X 1935	
781	アトリ	1	No 810	イスカ	1
782	ルリヒタキ	2	811	北京河原ヒワ	2
783	熱河大赤ケラ	1	812	真ヒワ	1

		14	836	白髪ホジロ	1
平泉 Pinsen S. Manchuria					17
	<u>7, X, 1935</u>				TO 586
No 813	唐赤ゲラ	1		<u>13 X 1935</u>	
814	北京河原ヒワ	1	No 837	白髪ホシロ	2
		1●2	838	熱河鶺鴒	2
		T9	839	全 上	2
光頭山 Konto san, S. Manchuria			840	深山ホジロ	2
	<u>9 X 1935</u>		841	灰頭ホジロ	2
No 815	白髪ホジロ	2	842	山ヒバリ	2
816	々々	2	843	四十柄	1
817	西比利ホジロ	1	845	小柄	1
		5	846	大ミンサバエ	1
		T 14	847	唐赤ゲラ	1
	<u>10 X 1935</u>		848	西比利ホジロ	3
No 818	^マ 満洲[州]山ゲラ	1	844	白髪ホジロ	19
819	西比利ホジロ	1			T 607
		2	849	深山ホジロ	2
		T 16	850	山ヒバリ	2 T611
		277			
	<u>11 X 1935</u>	260		<u>14 X 1935</u>	
		17	No 851	蒙古深山カケス	2
No 820 ♂	^マ 満洲[州]山ゲラ	TO554 1	852	々 上	12
		T 17	853	シメ	2
Altorian S Manchuria			854	シメ	1
	<u>12 X 1935</u>		855	朝鮮ミンサバエ	2
No 821	唐赤ゲラ	2	856	深山ホジロ	2
No 822	西比利ホジロ	2	857	全 上	2
823	全 全	2	No ^マ 5[8]58	山ヒバリ	1
824	唐知目鳥	32	^マ 5[8]59	黄眉ホジロ	1
825	コウライ雉子	1 10	^マ 5[8]60	朝鮮ミンサバエ 小柄	2
		TO 564	^マ 5[8]61	高麗雉子	1
	<u>12 X 1935</u>				17
No 826	黄バシ丸ハシ	2			T 628
827	全 全	3		<u>15 X 1935</u>	
828	尾長(朝)	2	No 862	蒙古深山カケス	1
829	アトリ	1	863	黄嘴丸嘴	2
830	山ヒバリ	2	864	全 上	2
831	黄眉ホジロ	2	865	西比利ホジロ	1
832	黄眉ホジロ	1	866	朝鮮ミンサバエ	2
833	深山ホジロ	1	867	唐知目ドリ	1
834	頭高	1	868	^マ 満洲[州]ダルマ柄長	2
835	山ヒバリ	1	869	全 上	2

870	全 上		2	900	喉赤ツグミ		2
871	全 上		2	901	八丈ツグミ		2
872	全 上		2	902	八丈ツグミ		2
873	全 上		2	903	シメ		2
874	小類赤	1	21	904	高ライシマエナガ		2
			T 649	905	テウセンミンソサバエ		1
			650	906	? 西比利ホジロ		1
	<u>16 X 1935</u>			907	ツグミ		1
No 875	蒙[古]深山カケス		1	908	四十柄	1	14
No 876	黄眉ホハジロ		1	909	? 大赤ケラ♂♀	2	T 71●
877	ツグミ		1				716
878	嘴太イカル		1				
879	熱河カサハギ		1		<u>21 X 1935</u>		
			5	No 911	山ジャク		1
			T 670	912	大赤ゲラ		1
	<u>17 th X 1935</u>			913	高麗尾長		1
No 880	蒙古深山カケス		2	914	嘴太イカル		1
881	西比利大モズ		1	915	シメ		2
882	大マシコ		2	No 916	唐知目鳥		2
883	全 上		2			TO725	8
884	高ライ柄長		2		<u>22 X 1935</u>		
885	コウライ柄長		1	No 917	満洲[州]山ゲラ		1
886	満洲[州]柄長		2	918	高ライ尾長		2
887	唐知目鳥		2	919	全 上		2
888	唐知目鳥		1	920	山ジャク		1
			15	921	喉赤ツグミ		1
			T 685				7
	<u>18 X 1935</u>					TO	732
No 889	八丈ツグミ		1		<u>23 X 1935</u>		
890	喉赤ツグミ		2	No 922	尾長紅マシコ		1
891	シメ		2	923	灰頭ホジロ		1
892	大マシコ		2	924	熱河五十柄		1
893	唐知目鳥		1			T	735
894	シラガホジロ		1				
			T 694		<u>24 Oct.</u>		
	<u>19 X 1935</u>			No 925	小紅ヒワ		2
No 895	大マシコ		2	926	●喉赤ツグミ		1
896	大朝鮮五十柄		1		<u>25 X 1935</u>		
897	八丈ツグミ		1				
898	全 上		1	No 927	高麗シマエナガ		2
			T 699	ママ 29[92]8	唐赤ゲラ		1
	<u>20 X 1935</u>				<u>26 X 1935</u>		
No 899	朝鮮尾長		1	No 929	菊戴		1

930	山ウヅラ	1	958	全上	2
		T 743	959	全上	1
	<u>27 X 1935</u>		960	中ヒバリ	1
No 931	四十柄	1	961	唐赤ゲラ	1
No 932	テウセンエナガ	2	962	爪長セキ	1
933	全 上	2			10
934	高麗尾長	1			T 787
935	満洲 ^マ [州]山ゲラ	2		<u>10 XI 1935</u>	
936	満洲 ^マ [州]山ゲラ	1	No 963	シラコハト	1
910	朝センミンサバエ	1	964	々上	1
		T 753	965	シメ	1
	<u>28 X 1935</u>		966	カラシバウカラ	1
No 937	山ウヅラ	1	967	唐赤ケラ	2
938	全 上	1	968	小ハシコガラ	1
939	山上	1	969	満洲 ^マ [州]山ケラ	1 8
940	朝セン柄長	1			T 795
941	四十柄	1		<u>11 XI 1935</u>	
942	頭高	2	No 970	草シギ	1
		8	971	草シキ	1
943	高麗尾長	1	972	小嘴紅ヒワ	1
		T 761	973	大ヒバリ	1
	<u>29 X 1935</u>		974	小嘴小柄	2
No 944	頭高	2	975	朝鮮小ジユリン	1 7
945	全上	2	976	頭高	2 T 804
No 946	山ジヤク	1			
947	満洲 ^マ [州]山ゲラ	1		<u>12 XI 1935</u>	
		T 767	No 977	満洲 ^マ [州]山ゲラ	2
	<u>30 X 1935</u>		978	全上	1
No 948	朝鮮柄長	2	979	田ヒバリ	2
949	頭高	1	980	小嘴小柄	1
		T 770			810
Sui Chin S. Manchuria 綏中				<u>13 XI 1935</u>	
	<u>7 XI 1935</u>		No 981	シラコハト	1
No 950	サメ色田ヒバリ	1	982	全上	1
951	シラコ鳩	1	983	全上	1
952	唐赤ケラ草シギ	2	984	大ヒバリ	1
953	全 全	1	985	唐赤ゲラ	1
954	唐赤ケラ	1	986	草シギ	1
955	中ヒバリ	1	987	朝鮮ミンサバエ	1
		7	988	田ヒバリ	1
	<u>9 XI 1935</u>	T 777	989	朝鮮小ジユリン	1
No 956	小ハシ紅ヒワ	2			T 819
957	全上	2		<u>15 XI 1935</u>	

No 990	西比利ホジロ?	1	1017	イカル目大千鳥	1
991	△鶺鴒	1			T 854
992	朝鮮小ジユリン	1		<u>28 XI 1935</u>	
993	小嘴紅ヒワ	2	No 1018	イカル千鳥	1
		T 824	1019	全上	1
	<u>16 XI 1935</u>				
No 994	●小嘴小柄	2		<u>32 XII 1935</u>	
995	嘴太小柄	1	No 1020	紅鳩	1
996	尾長紅マシコ	1			T 857
997	朝鮮小ジユリン	2		<u>4 XII 1935</u>	
998	日柄	1	No 1021	大ヒバリ	1
		T 831	1022	大ヒバリ	1
	<u>17 XI 1935</u>				T859
No 999	大唐モズ	1			
	<u>18 XI 1935</u>				
No 1000	西比利ホジロ	1			
1001	小嘴小柄	1			
1002	嘴太小柄	2			
		T 836			
	<u>19 XI 1935</u>				
No 1003	朝鮮小ジユリン	2			
1004	全上	1			
1005	嘴太小柄	1			
		T 840			
	<u>20 XI 1935</u>				
No 1006	朝鮮小ジユリン	2			
1007	全上	1			
		843			
	<u>25 XI 1935</u>				
No 1008	時ハシケリ	1			
1009	全上	1			
1010	冠ヒバリ	1			
1011	大ヒバリ	1			
1012	中ヒバリ	2	T 849		
	<u>26 XI 1935</u>				
No 1013	小嘴小柄	1			
		T 850			
	<u>27 XI 1935</u>				
No 1014	時嘴ケリ	1			
1015	鶺鴒	1			
1016	全上	1			